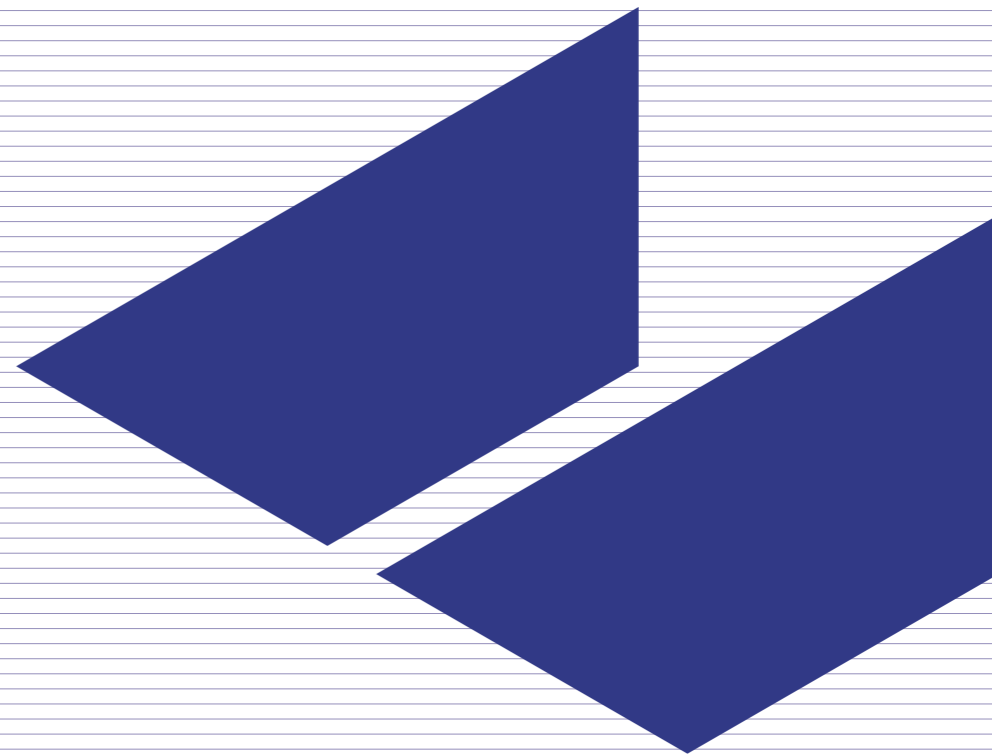
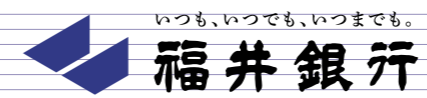


FUKUI BANK REPORT
2019.3
統合報告書
(ディスクロージャー誌2019[本誌])



目指すのは 「地域産業の育成・発展と 地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

創立当時から大切にしている 地域への変わらぬ想いを込めて
2015年に3つの理念を制定しました。

Mission

存在意義

地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現

福井銀行は、明治32年「地域産業の助成こそ使命」という想いから、当時盛んになり始めた繊維産業を育成するために地主の蓄積した資本を結集して設立。地元を愛し、その発展に尽くすことを第一義とする無私の精神は、創立当初から福井銀行のDNAに深く刻まれ、120年たった現在も変わらず「企業理念」にしっかりと受け継がれています。

いつも、いつでも、いつまでも。

企業理念を原点とした「地域とともに」という福井銀行の想いを表した企業スローガンです。全職員から公募を行い、1,600を超える作品の中から採用されました。

Action

役職員の日々の行動

誠実 × 情熱 × 行動

「誠実」…相手を大切に思い、
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず、
「行動」…実際の働きで示す

当行の理念

企業理念

経営理念

行動理念

今日の誓^{※1}

- 一 自己を反省して人の悪口を言はざること
- 二 四恩^{※2}を感謝して吾職務に精励すること
- 右 今日一日の務めとして実行を誓ひます

※1 「今日の誓」は創業者市橋保治郎翁が禅の思想に基づき提唱したもので、福井銀行職員は、この「今日の誓」を行動のバックボーンとして業務に精励しております。

※2 四恩…先相の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

Commitment

経営のコミットメント

トライアングル・バランスの実現

福井銀行グループは豊かな地域社会の実現のために

- 「職員の満足(働きがい)」
 - 「お客さま(地域)のご満足」
 - 「株主の方々(投資家のみなさま)のご満足」
- をバランスよく高める経営を実現します

Contents

3 福井銀行のあゆみ

5 福井銀行とSDGs

7 福井銀行の価値創造プロセス

9 中期経営計画

「企業理念」の実現に向けて(第1章)～より早く、より深く、より広く～

11 頭取メッセージ

13 スペシャル対談

17 コーポレート・ガバナンス

21 財務ハイライト

23 非財務ハイライト

24 地域密着型金融への取り組み

25 法人のお客さまへ

37 個人のお客さまへ

39 地域のみなさまへ

編集方針

当行グループは、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」という企業理念の実現のため、当行を取り巻くステークホルダーの満足度をバランス良く高める経営に努めており、ステークホルダーのご満足を得るためには、企業情報の適切かつ公平、正確なディスクロージャーが必須なものであることを認識しております。こうした観点から、国際統合報告評議会(IIRC)が発表した「国際統合報告フレームワーク」を参考にした統合報告書を本年より作成しております。本報告書を通じ、年次業績と中長期的な地域の発展と企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、さらなる対話のきっかけになることを目指しております。

また、本報告書は、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料(業績及び財産の状況に関する説明資料)を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際は、本報告書ならびに「FUKUI BANK REPORT 2019.3[資料編(WEB版)]」(当行本支店で縦覧及び当行ホームページ<https://www.fukuibank.co.jp/>に掲載)をあわせてご覧ください。

報告対象期間・範囲

報告対象期間は、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)です。ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。データの集計範囲は、株式会社福井銀行およびグループ会社です。

見直しに関する注記

本報告書には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比が異なる可能性があることにご留意ください。

地域とともに、お客さまとともに

福井銀行は、地域の産業を支援するために地元の資本を結集して誕生し、その後、地域から求められるニーズに応じて事業領域を拡大してまいりました。地方創生が叫ばれるなか、引き続き質の高い総合的な金融サービスをスピード感をもって提供し、地域経済の発展に貢献してまいります。



空襲・福井大震災からの復興
「復興は地元銀行から」を合い言葉に、福井銀行はいち早く復興本部を設置。度重なる被災で力を落とした地域経済の立て直しに全力で取り組みました。

1945-1950頃



人絹糸担保金融を開始
全国に先がけて人絹糸と人絹織物を担保とした融資を始めました。羽二重の衰退に直面する地域産業にとっての新たな道を切り開いた事業です。

1924



1899

株式会社福井銀行設立

(設立日12月19日、資本金30万円、本店福井市) 当時、盛んになり始めた繊維産業を育成するため、地主の蓄積した資本を結集して設立されました。「地域産業の助成こそ使命」。それが創立者・市橋保治郎たちの想いでした。地域のお客さまのためにできることは何か。その挑戦は100年以上も前から始まっていたのです。



1972

当行株式が東京証券取引所市場第2部、大阪証券取引所市場第2部に上場 (1973年8月両取引所市場第1部に指定)

1982

福井信用保証サービス株式会社を設立

1983

福銀住商リース株式会社を設立 (1997年4月株式会社福銀リースに商号変更)

株式会社福井経済経営研究所を設立

1986

株式会社福井ディーシーカードを設立 (2014年2月株式会社福井カードに商号変更)

福銀ビジネスサービス株式会社を設立

福井しあわせ元気国体・障スポに協力
約700人の職員が大会運営のボランティア等に協力するなど、オフィシャルサポーターとして大会を成功に導くための様々な支援を行いました。

2018

世界体操競技選手権鯖江大会に協力
当行職員約1,300人が競技会の賛助会員になるなど、銀行をあげて大会を盛り上げました。

1995

2012

「コーポレートブランドマーク」「スローガン」新規制定

2014

バンコク駐在員事務所 開設

2015

株式会社福井キャピタル&コンサルティングを設立

2016

移動店舗車「ふくぎんKuruz (クルーザー)」営業開始

1997

福銀ネットワーク株式会社を設立 (2000年10月株式会社福井経済経営研究所を吸収合併し、福井ネット株式会社に商号変更)

2000

財団法人保堂会教育福祉財団を設立 (福井銀行の役員で構成されていた「保堂会」という任意団体を設立母体とし設立。2013年10月に公益財団法人福井銀行教育福祉財団へ名称変更)

2007

委員会設置会社 (現在の指名委員会等設置会社)へ移行

2020

新本店完成予定

メインコンセプト「地域をつなぎ、未来をつくる」
人が集まりチャレンジの生まれる新本店に相応しい、地域をつなぎ、未来を創る場を目指します。

デザインコンセプト「紡ぐ」

福井の伝統産業である繊維業に着目した「紡ぐ」。小さな物を寄り集めて一つの物を創る行為、人が集まりつながる様子、歴史を未来へ継承すること等を連想することができます。

当行の概要		(2019年3月31日現在)	
名称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)	所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号
電話	0776-24-2030(代表)	ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp
設立年月日	1899年12月19日	資本金	179億65百万円
従業員数	1,403名(出向者含む)	店舗	有人店舗数/80か所 店舗内店舗数/15か所 その他/3か所 合計/98か所 ※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店(インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室(毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業) 店舗外自動機設備/128か所 (ATM運営会社・セブン銀行・ローン銀行との共同設置を除く)
主要勘定	預金等残高 2兆4,113億円 有価証券残高 6,138億円	貸出金残高	1兆6,723億円
株式の状況	発行済株式総数 24,144千株	株主数	8,334名

グループ会社の概況

名称	所在地	資本金(百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の所有(又は被所有)割合(%)
福銀ビジネスサービス(株)	福井市今市町第66号7番地1	10	現金整理及び現金自動設備の保守管理業務	1986年12月11日	100.00 (-)
(株)福井キャピタル&コンサルティング	福井市花堂南2丁目16番75号	50	ベンチャーキャピタル業務 コンサルティング業務	2015年7月1日	100.00 (5.00)
福井信用保証サービス(株)	福井市春山2丁目3番10号	50	住宅ローン等の保証業務	1982年11月6日	100.00 (50.00)
(株)福井カード	福井市順化1丁目2番3号	30	クレジットカード業務	1986年8月5日	76.67 (71.67)
(株)福銀リース	福井市照手1丁目2番17号	50	リース業務	1983年9月16日	59.80 (54.80)
福井ネット(株)	福井市春日町238番3号	40	コンピュータ関連業務	1997年4月21日	72.25 (61.00)

※「議決権の所有(又は被所有)割合」欄の()内は子会社による間接所有の割合(内書き)であります。

福井銀行とSDGs

国連で2015年9月に採択された「持続可能な開発目標(SDGs)※」。

「世界中の誰一人取り残さない」をスローガンとし、誰もが社会的課題を「自分ごと」として捉え、パートナーシップ(連携)で解決することを呼び掛けています。

当行は、SDGsを世界の共通言語として活用し、地域のみならず、「金融」の力を通じて『持続可能な社会』の実現に取り組んでまいります。

企業理念とSDGsへのアプローチ



福井銀行の企業理念は、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」です。これはSDGsの目指す「持続可能な社会の実現」と通じるものであり、まさに当行の理念そのものであると考えています。

また、ひいては職員一人ひとりにとっての「自己実現」につながるものです。それらの実現のために役職員の理解浸透(意識醸成)をはかるとともに、地域全体がSDGs実現に向けた取組みを実践していくことが重要であると考え、地域金融機関として地域への浸透・普及に向けた取組みを行っております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※ 持続可能な開発目標(SDGs:SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)
 将来の世代が安心して暮らせる「持続可能な社会」を実現するために、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の課題に対する国際目標。
 地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むため、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標。2030年を期限とし、「貧困や飢餓の根絶、環境保全、多様な人材の活躍、技術革新やまちづくり」などの17の目標と各目標を実現するための169のターゲットで構成されています。

SDGsへの取組み

福井銀行グループSDGs宣言

国連の提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)※」の考え方を経営戦略の軸に組み込み、銀行業を通して持続可能な社会の実現につなげていくため、「福井銀行グループSDGs宣言」を制定いたしました。

SDGsの17目標全てに取り組むとともに、「働きがいや経済成長、産業の発展、まちづくり、平和」などの「企業理念」や「中期経営計画」と特に親和性の高い4つの目標を重点推進項目とし、今後これらSDGsに関する取組みについてホームページ等で公表してまいります。



一人ひとりのSDGs宣言

当行では、「福井銀行グループSDGs宣言」と合わせて、職員一人ひとりがSDGsについて考え、行動することを通して、当行のSDGsへの取組みのさらなる発展及び職員自身の自己実現を目的に、「一人ひとりのSDGs宣言」を実施しています。具体的には、職員一人ひとりがSDGsの17目標の中から、日常生活の中で個人レベルで行えること、あるいは地域との関わりの中で取り組んでいくことなどを宣言し、実践していくものです。

一人ひとりのSDGs宣言を実施するにあたっては、銀行内で職員向けにSDGsに関する啓発メールマガジンを定期的に発信するなどして、職員自身のSDGsへの理解促進と共感の醸成に努めました。

全役職員のSDGsバッジ着用

当行では、意思表示の1つとして、全役職員にバッジを配布・着用しております。お客さまとの会話のきっかけとなり、地域浸透にも貢献しております。



北陸財務局福井財務事務所とのSDGsセミナーの実施

2019年5月には、北陸財務局福井財務事務所JO課と共催で、福井県内の地方公共団体向けに「地方創生とSDGs」をテーマとしたセミナーを開催いたしました。

本セミナーは、「地方創生への貢献策を検討し実施すること」を目的に活動する福井財務事務所JO課と「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念とする当行の『福井を元気にするために何かしたい』という思いが合致し、企画したものです。

全国でも先進的な取組みを行っている『平成30年度SDGs未来都市』に選定された石川県珠洲市、『第2回ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞』を受賞した鹿児島県大崎町(インターネット中継を利用)にご講演いただき、参加者からは「とても充実したセミナーだった」「これからの取組みの参考にしたい」とのお声をいただきました。

そのほか、参加者による意見交換も開催。福井財務事務所JO課と福井銀行の職員がファシリテーターを務めました。



福井銀行の価値創造プロセス

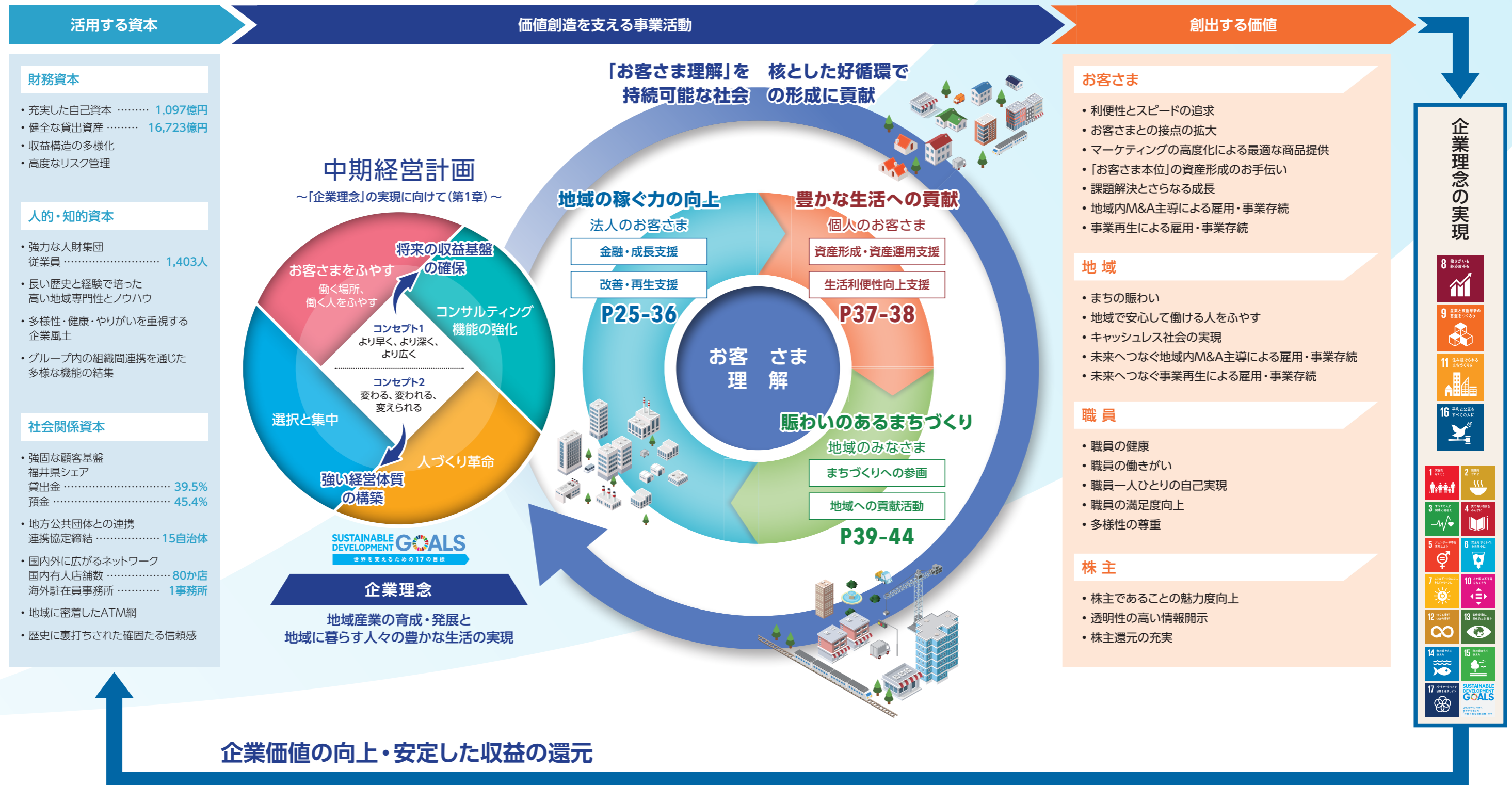
福井銀行は、企業理念として「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を掲げています。

企業理念を実現するため、経済や社会の環境変化に伴って

多様化・高度化するお客さまのニーズをしっかりと汲み取る「お客さま理解」を経営戦略の軸とし、

- 法人のお客さまには「金融」「成長」「改善」「再生」等の各種支援
- 個人のお客さまには「資産形成」「資産運用」「生活利便性向上支援」等の各種支援
- 地域に対しては「まちづくりへの参画」と「地域への貢献活動」

を通して、お客さまならびに地域の未来(価値)の創造を目指します。また、これら価値創造プロセスをもって自ら企業価値の向上を追求し、株主にとっての魅力(価値)と職員の満足度(価値)を高めていくことで、事業活動を将来にわたり継続・深化させながら、「持続可能な社会の実現」に貢献します。



財務資本

- 充実した自己資本 …… 1,097億円
- 健全な貸出資産 …… 16,723億円
- 収益構造の多様化
- 高度なリスク管理

人的・知的資本

- 強力な人材集団
従業員 …… 1,403人
- 長い歴史と経験で培った
高い地域専門性とノウハウ
- 多様性・健康・やりがいを重視する
企業風土
- グループ内の組織間連携を通じた
多様な機能の結集

社会関係資本

- 強固な顧客基盤
福井県シェア
貸出金 …… 39.5%
預金 …… 45.4%
- 地方公共団体との連携
連携協定締結 …… 15自治体
- 国内外に広がるネットワーク
国内有人店舗数 …… 80か店
海外駐在員事務所 …… 1事務所
- 地域に密着したATM網
- 歴史に裏打ちされた確固たる信頼感

お客さま

- 利便性とスピードの追求
- お客さまとの接点の拡大
- マーケティングの高度化による最適な商品提供
- 「お客さま本位」の資産形成のお手伝い
- 課題解決とさらなる成長
- 地域内M&A主導による雇用・事業存続
- 事業再生による雇用・事業存続

地域

- まちの賑わい
- 地域で安心して働ける人をふやす
- キャッシュレス社会の実現
- 未来へつなぐ地域内M&A主導による雇用・事業存続
- 未来へつなぐ事業再生による雇用・事業存続

職員

- 職員の健康
- 職員の働きがい
- 職員一人ひとりの自己実現
- 職員の満足度向上
- 多様性の尊重

株主

- 株主であることの魅力度向上
- 透明性の高い情報開示
- 株主還元の充実

中期経営計画

「企業理念」の実現に向けて(第1章)～より早く、より深く、より広く～

企業理念を実現するために、『中期経営計画』では職員一人ひとりへのさらなる浸透をはかっております。「より早く、より深く、より広く」を合い言葉に、地域とお客さまの成長を目指し、これまで以上に取り組んでまいります。また『中期経営計画』の位置付けを「地域とともに、お客さまとともに、時代の変化に合わせて成長する期間」とし、社会的潮流を捉え、下記4つのテーマのもと、当行自身も変革しながら企業理念の実現のために行動してまいります。

中期経営計画の概要

タイトル	「企業理念」の実現に向けて(第1章)		
期間	2018年4月～2021年3月		
位置付け	地域とともに、お客さまとともに、時代の変化に合わせて成長する期間		
2つのコンセプト	より早く、より深く、より広く	変わる、変われる、変えられる	
4つのテーマ	お客さまをふやす 働く場所、働く人をふやす	コンサルティング 機能の強化	選択と集中 人づくり革命

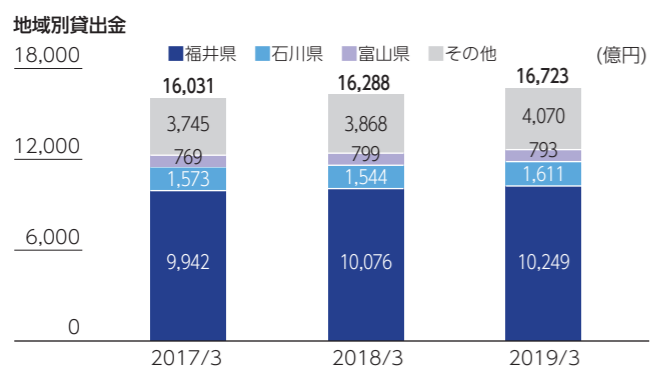
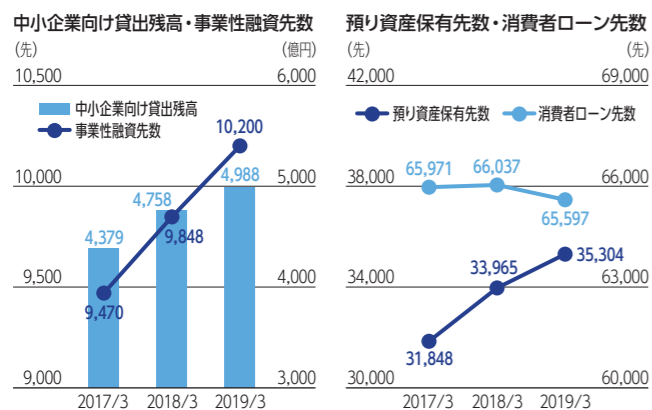
4つのお約束

- お客さまのご相談に迅速に対応します(より早く)
- お客さまのお悩みに誠実に寄り添います(より深く)
- 地域に対して積極的に支援し続けます(より広く)
- 上記の3つに対して、「誠実」に「情熱」を持って「行動」できる人財を育てます

4つのテーマの取組経過・成果

1 お客さまをふやす 働く場所、働く人をふやす

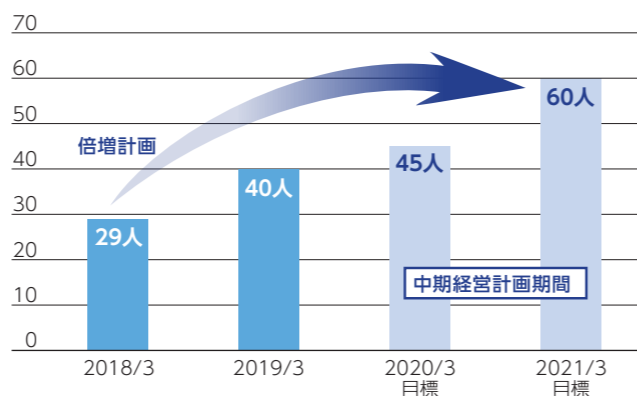
お客さまをふやすために、お客さまの「真のニーズ」を把握し「最適な解決策」の提供をすべく、営業店の営業人員の増強によるお客さまとの接点の拡大と、コンサルティング人員の増強により、コンサルティングサービスの充実を行いました。これにより、事業性融資先数、中小企業向け貸出残高、預り資産保有先数が増加いたしました。また地域別貸出金では、福井県・石川県が増加し、富山県は減少したものの、全体残高は435億円増加となりました。



2 コンсалティング機能の強化

より早く、より広い視点でお客さまをサポートするため、2019年3月、本部に「コンサルティンググループ」を設置いたしました。支援態勢の強化を図るべく「本部コンサルティング人員」の増強と質の高い「コンサルティングサービス」を充実させることで、各種課題解決を実現しております。

本部コンサルティング人員数



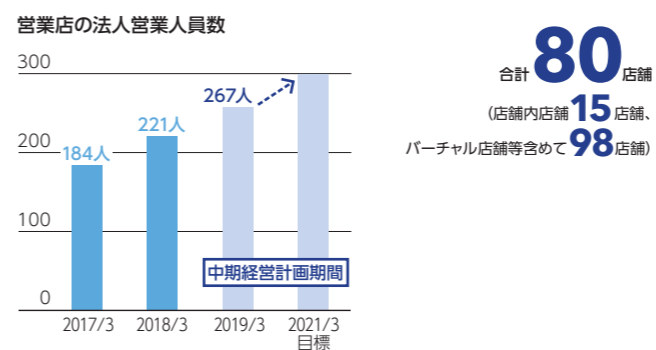
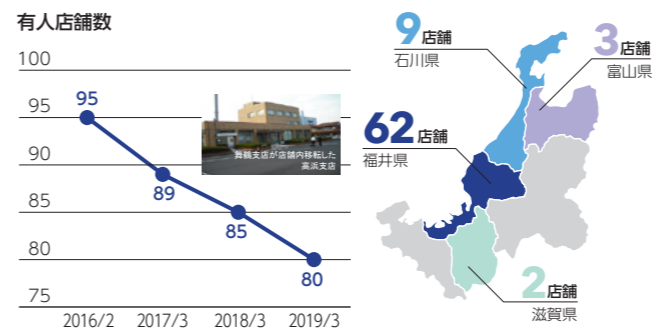
コンサルティングサービス

経営改善支援	経営改善計画の策定支援、資金繰り改善など経営環境に応じた融資対応を実施しました。
事業承継・M&A支援	有償コンサルティング業務の取扱いを開始し、コンサルティング契約・アドバイザー契約を受託いたしました。
医療介護	経営課題に対して、営業店と本部専任者が連携し、外部専門家を活用して解決に向け対応しております。
法人保険	保障を活用した経営課題解決を実現しております。
相続・資産運用	信託・保険・仕組債を活用した課題解決を実現しております。

3 選択と集中

成果を出し続けるための最適な経営資源配分として、店舗内店舗方式により有人店舗網の集中を行うことで、「営業力」「コンサルティング能力」を強化すべく、営業店の「法人営業人員数」の増強を行っております。

また、生産性向上による営業活動強化策としては、個人ローン申込受付のタブレット化や、シンプルでわかりやすい住宅ローン新商品の取扱いを行い、業務のスピードアップとペーパーレスを実現いたしました。



4 人づくり革命

TOPICS

■ 人づくり塾(伝承・林塾)

職員一人ひとりが人間力向上に取り組む組織づくりの一つとして「人づくり塾(伝承・林塾)」活動を展開しています。企業理念の実現に向けて能動的に行動する人財を増やすことを目的に、2018年11月に立ち上げました。中堅・若手行員が主体的に、業務終了後に月1回ほど地区別に集まり、様々なテーマで話し合っています。自ら考え行動する風土の醸成に繋がっています。



TOPICS

■ フィンクロス・デジタルの設立

金融のデジタル化を推進するため、地銀7行がパートナーシップを結び、協働で研究・開発を行うために共同出資会社「フィンクロス」を設立いたしました。

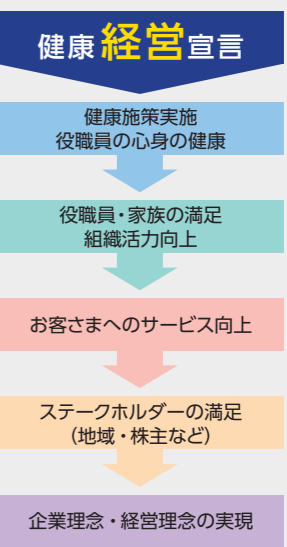
また、フィンクロス・パートナーシップ参加行である群馬銀行、山陰合同銀行、四国銀行、千葉興業銀行、筑波銀行の5行と協働でAIを活用した「銀行内デジタル文書検索システム」の導入を決定いたしました。

フィンクロス・パートナーシップ参加行は、本件を第一号案件とし、これからも協働して銀行のデジタル化(AIやクラウド技術を活用したビッグデータの活用、デジタルマーケティング、お客さま接点のUI/UXの向上、RPAを活用した銀行業務の効率化)を積極的に推進してまいります。



■ ふくぎん健康経営宣言

健康経営を実施するにあたり、「ふくぎん健康経営宣言」を制定し、福井銀行グループ全体で健康経営に取り組んでいくことを公表しております。役職員の心身の健康があってはじめて「職員の満足(働きがい)」が高まり、企業理念実現に向けての活力が生まれるとの認識のもと、役職員の健康維持・増進を図り、活力ある職場づくりを行うことを目的として実施しております。





地域とともに、
お客さまとともに、
時代の変化に合わせて成長する

地域の発展に貢献することが 当行の存在意義

福井銀行は「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念としており、地元福井の発展に貢献したいという当行の強い思いが込められています。この背景には、当行の創立の経緯が大きく影響しています。当行は1899年に、発起人および役員が全員地主という珍しい形態で創立されました。当時は、繊維産業が盛んになり始めた頃で、そこに資金を提供して地元企業を育成したいという創立者 市橋保治郎の考えによるものでした。

創立からこれまでを振り返ってみても、当行が成長できた背景には地元福井の発展があり、当行の存在は地元経済を抜きには考えられません。こうした創立の思いを職員に浸透させるため、2015年10月には理念体系を整理し、理念体系の最上位として企業理念を新たに設けるとともに、2018年4月には、企業理念の実現を目指した3か年の中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』を策定しました。時代とともに地域を取り巻く環境が変化中、地域のために何が必要かを考え、地域のために必要な行動を行い、地域の発展に貢献することが当行の存在意義であると考えています。

地域の「働く人」「働く場所」をふやす

現在、日本において人口減少、少子高齢化が進んでおり、地域経済の活性化が喫緊の課題となっています。一方、福井においては、北陸新幹線の開業と敦賀への延伸、中部縦貫自動車道の開通などの交通網の整備により、ビジネス環境が大きく変わりつつあります。こうした追い風を福井の持続的な成長につなげるため、ここ数年来、福井県にある企業の9割超を占める中小企業の経営改善や事業拡大を支援することに加え、観光産業の振興によって人の交流を増やし、地域の「働く人」「働く場所」をふやすことを最重要課題として取り組んでいます。2018年4月からの中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』では、基本的な方向性は堅持しつつ、これまで以上に「早さ」と「深さ」にこだわりながら取り組みをさらに広げ、確実に成果につなげていくことを目指しています。その一環として、2018年4月にコンサルティングを行う専任部署を立ち上げ、これまで以上に質の高い課題解決策を迅速に提供する態勢を整えるとともに、お客さまとの接点拡大につながる営業担当者の人員増強を図っています。

企業理念の実現を目指した 中期経営計画

中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』の1年目となる2019年3月期の業績は、金融緩和で利ざやが縮小する厳しい環境もあり減収減益となりました。しかしながら、計数目標である事業性融資先数、中小企業向け貸出残高、預り資産保有先数はそれぞれ予想を上回るペースで増加しています。お客さまとの接点を増やし、悩みや課題にしっかりと寄り添い、経営改善や事業拡大のお手伝いをしてきたことによって、企業の資金需要が回復した結果だと考えています。また、コンサルティング機能を強化した成果が着実に表れ、本業の利益の下げ止まりに寄与していることを評価しています。こうした流れを確実なものにするためにも、さらなるコンサルティング機能の強化を進めていきたいと考えています。

2019年4月からは、個人目標を計数目標から役割(行動)目標へ転換し、お客さまの資産形成や資産運用のお手伝いのための行動・職員自身の資質向上のための行動などを評価の対象としました。地域の発展とお客さまの豊かな生活の実現に向けて貢献するという本来の目的を見失わず、真摯な姿勢でお客さまとの信頼関係を構築することが、持続的な成長につながると確信しています。

また、お客さまに真にご満足いただける質の高いサービスを提供し続けるためには、優秀な職員の存在が欠かせません。戦略に応じた人材育成プランの運用や、経営陣との対話を通じた意識改革を引き続き進め、地域の発展に貢献することを働きがいと、お客さまの多様化するニーズに対応できる人財を育成していきます。さらに、役職員の心身の健康があってはじめて組織の活力が生まれるとの認識のもと、「働き方改革」の実践による総労働時間の削減と「健康経営」を推進します。

福井銀行グループSDGs宣言

当行は、2018年12月に「福井銀行グループSDGs宣言」を制定しました。地域金融機関の使命がそれぞれの

地域の持続的発展である中、「人々の健康や生きがいとともに経済成長を実現していく」という国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の普遍的かつ包摂的な考え方を経営戦略に取り入れることは非常に重要な意味を持つと考えます。

この宣言を通じて、企業理念に向けたこれまでの取り組みと、これから取り組むべきことをSDGsの目標とひも付けし、取り組みを深化することで、SDGsの目指す「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。また、SDGsの17目標全てに取り組むとともに、「働きがいや経済成長、産業の発展、まちづくり、平和」などの「企業理念」や「中期経営計画」と特に親和性の高い4つの目標を重点推進項目としています。

産・学・官をつなぎ、 地域経済の活性化を支援

福井県は、世帯あたりの所得が高く、教育先進県であり、優れた人材を輩出する地域性、化学、電子・デバイス、繊維、電気機械など多くの技術が内包される産業の多様性など、他の地域に誇れるものが数多くあります。こうした「福井らしさ」を維持しつつ持続的な成長につなげることが、リーディングバンクである当行の責務であると認識しています。

「企業理念」の実現に向け、県や市町などの自治体、商工経済団体、大学等教育機関、専門支援機関などが連携し、一体となって地域活性化に取り組むための中心的な役割を担っていく所存です。中部縦貫自動車道の開通、北陸新幹線の開業などの交通網の整備により、福井県のビジネス環境が大きく変わりつつあるなか、「企業理念」の職員一人ひとりへのさらなる浸透を図り、地元企業の改革・躍進を後押しし、福井県の持続的な発展に貢献してまいります。

2019年6月
取締役 兼 代表執行役頭取

林 正博



福井銀行 社外取締役
元バレーボール日本代表
三屋 裕子氏

取締役 兼 代表執行役頭取
林 正博

スペシャル対談

地域のための取組みが 私たちの使命 それが 銀行の成長へとつながる

福井県出身で元バレーボール日本代表、五輪メダリストの三屋裕子氏は、2018年6月から
当行の社外取締役に務めています。アスリート、指導者、経営者という多方面での経験を持つ三屋氏に、
福井銀行の強みや特徴、福井県の可能性についてお聞きしました。

地域における 銀行の存在意義とは？

林 三屋さんには昨年6月より当行の社外取締役に加
わっていただきましたが、当行について、どのように見
ていますか？

三屋 福井銀行と関わる前は、銀行の業務は融資をす
るだけだと思っていましたが、経営改善のコンサルティ
ングや事業計画作成支援、事業拡大のためのパート
ナーの紹介など、とても幅広い業務を行っていることを
知りました。

林 日本経済が成熟するなかで、銀行に求められる役
割も変わってきています。福井において人口減少と急
激な少子高齢化の進展が想定されるなか、県内企業の
改革・躍進を後押しし、地元企業の業績改善を通じて
福井県を活性化させることが当行の使命です。2018
年4月からスタートした中期経営計画『「企業理念」の実
現に向けて（第1章）』では、地域の「働く人」「働く場所」
をふやすことを最重要テーマとして、地域における持
続的雇用の増加を目指した様々な取組みを継続し、地
域が活性化した結果として当行のお客さまが増えるこ
とを目指しています。

三屋 私は2018年6月に社外取締役に就任しましたの
で、すでに中期経営計画は完成していましたが、地域
のお客さまのための取組みが結果として銀行のためにも
なるという姿勢に共感しました。また、この4月から職員
の人事評価から預かり資産獲得などの数値目標を外す
決断をされたことには驚きました。

林 人事評価から数値目標を外したのは、目先の数字
ばかりを追ってしまうと、地域の発展とお客さまの豊か
な生活の実現に向けて貢献するという本来の目的を見
失ってしまうことを恐れたことが最大の要因です。人口
が減少する環境では、数字だけを追うと必ずどこかで行
き詰まります。お客さまの経営課題の解決策を迅速に
提供し、持続的な成長を支援するため、2018年4月に
コンサルティングを行う専任部署も立ち上げて1年が
経過しましたが、お客さまの経営課題解決に向けた活
動量も増え、着実に成果もあがっています。しかしなが
ら、まだまだコンサルティングのレベルを上げていかな
ければいけないと考えています。

自分で考えて行動できる 人財を育成する

三屋 コンサルティングを強化するためには、優秀な職
員の存在が不可欠です。人財育成は銀行に限らずどの
企業でも重要な要素になっています。

林 職員にはワクワク感を持って働いてもらいたい
と思っています。2018年9月に「人づくり宣言」を行い、企
業理念である「地域産業の育成・発展と地域に暮らす
人々の豊かな生活の実現」に向け、地域の発展に貢献
することを働きがいとする職員を本気で育成し、この取
組みを通じて職員自らの自己実現につなげていく職場
環境や風土づくりを進めています。

三屋 スポーツの世界では、リーダーの指示通りにしか
動けない「チームレイバー」、チームのミッションを理解
し自分がどう動くべきかを考えられる「チームワーカー」
という考え方があり、チームレイバーとチームワーカー

のどちらが多いかでチームが残せる結果は全然違いま
す。チームレイバーが多いとメンバーの力量の足し算に
しかありませんが、チームワーカーが多いと、自分たち
で話し合いながらチームのミッションをクリアできるの
で、メンバーの力量の掛け算にすることができます。こ
れは企業も同じで、頭取が日頃おっしゃっている人づく
りの大切なところだと思います。

林 当行の「人づくり」の特徴は、業務分野ごとでの知
識やスキル専門性を高めていく通常のプログラムに加
え、お取引先の経営者など地域のために汗を流してお
られる方との対話を通じて、銀行員の視点では得られ
ない気づきを一人ひとりの人間としての成長につなげ
ることを目指していることです。また、頭取である私を
塾長とした「人づくり塾」を通じて、福井銀行職員として
のあり方、考え方を繰り返し伝承しています。

フェイストゥ フェイスの信頼関係が 福井銀行の強み

林 三屋さんは色々な企業を見ておられますが、当行
の特徴や強みは何だとお考えですか。

三屋 やはり地域に密着しているのが大きな強みだと
思います。今はインターネットで物が買えたり、様々な
手続きができるようになっていますが、私はフェイ
ストゥ フェイスの信頼関係はなくならないと思っていま
す。AIやIoTがいくら進歩しても、自分の大切な財産を
預けるとなると、最後はフェイストゥ フェイスの信頼関
係があってこそ。福井県は貯蓄率が高く、共稼ぎ率も高
いので、信頼関係は福井銀行の強みになると思います。

林 当行は1899年の創立以来、福井の発展に寄与し
ていくという理念のもと、地域のお客さまとのつながり
を重視してきました。その成果もあり、お陰様で当行は
福井県内で預金・貸出金ともにトップシェアをいただ
いています。人と人のつながりを大切に、地域やお客さ
まとの関係をどれだけ深めていけるか。おっしゃったよ
うに、そこは大切だと思っています。



三屋裕子氏プロフィール

福井県勝山市出身。1984年ロサンゼルス五輪バレーボール女子の銅メダリスト。多彩な経歴と豊かなアイデアから多くのスポーツプロデュースを手掛ける一方で、自らも国内オリンピック初の上場企業の社長として、利益の黒字化や多角経営に取り組んだ経験を活かし、現在も企業や大学をはじめ、各種スポーツ団体に貢献している。2018年6月より当行社外取締役。

三屋 ガバナンスも効いていると感じます。取締役会での報告事項をはじめ、イントラネットの情報を見ると、かなり細かい話し合いが行われていて、業務プロセスもきっちり踏んでいます。また、職員のコンプライアンス意識も非常に高いと感じます。

林 コンプライアンスやガバナンスの強化は継続して取り組んでいますし、成果にもつながっています。今後大いに力を入れていきたいと思っています。

東京にあるものではなく、東京にないものに気づく

林 三屋さんは福井から東京に出られましたが、今の福井はどのように映っていますか。

三屋 福井の人はPRが下手かもしれませんね。福井には色々な良いものがあるのに、それが福井の良さだと気づいていないことが多いのではないのでしょうか。私は年に数回、福井県の高校生などに授業を行っていますが、「電車の本数が少ない」「駅前が寂しい」とか、あれがない、これがないと言います。私は東京から福井に帰ってくると、「なんて水が甘いんだ」「空気が本当においしいな」「星がきれいだな」などと思います。東京や大阪にあるものを福井でも欲しいというのではなく、福井らしさこそが一番の売りになるんだという話をしています。

林 福井県には、自然、歴史、食文化など、県内外に誇るものがたくさんあります。こうした福井ならではの資源を最大限に活用して地域経済の発展につなげるため、2015年に女性職員による福井県観光活性化プロジェクト

チーム「ふくジェンヌ」を結成するなど、福井県の魅力を県内外に発信するためのお手伝いを行っています。

三屋 今から約30年前、福井県内で初めて恐竜の化石が私の出身地である勝山で発見されましたが、当時、地元ではほとんど反応がありませんでした。しかし、いつの間にか恐竜博物館ができ、あれよあれよという間に福井を代表する観光地となりました。

林 恐竜博物館の来館者が増えたのは、高速道路が整備された影響も大きいと思います。現在、中部縦貫自動車道の開通や北陸新幹線の敦賀への延伸など交通網の整備が進み、福井県を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。当行としても観光振興や住み良い街づくり、伝統工芸品のブランド化や企業誘致などによって交流人口を増やすことで、福井の発展につなげられればと考えています。

女性が活躍できるステージをもう一段上げる

林 三屋さんは世界的に活躍し、いろいろなご経験もおありですので、ぜひ今後も幅広い視点で意見をいただければと思います。

三屋 社外取締役として、株主の代表という目線は忘れずに見ていきたいと思っています。また、これからは女性の活躍の場をいかに広げていくかということが大切になります。男性よりも優秀な成果を残す女性も数多く育っています。優秀なプレーヤーから優秀なマネジメントが出来る職員への育成がポイントです。その方たちのステージをもう一段上げ、管理職や経営者として活躍してもらうことが今後の課題だと思っています。人は行動が結果につながると、業務に対するモチベーションがあがり、さらなる前進に向けたエネルギーが湧きあがる好循環が生まれます。きっかけをどう作ってあげるかが重要で、そのお手伝いができればと考えています。

林 人づくりはようやく動き出したところで、女性の活躍についてはまさにこれからが本番です。三屋さんは教師やチーム監督・経営者など多彩な経験をお持ちです。ぜひ期待しています。本日はどうもありがとうございました。



コーポレート・ガバナンス

役員

取締役兼代表執行役頭取 林 正博

1981年 4月 福井銀行入行
2003年 3月 経営管理グループ法務室長
2004年 7月 経営管理グループ法務チームリーダー兼
お客さま相談室長
2006年 4月 経営企画グループ法務チームリーダー兼
お客さま相談室長
2007年 3月 監査グループ監査チームリーダー
2007年 6月 監査グループマネージャー
2008年 6月 取締役
2009年 6月 取締役兼執行役
2010年 6月 取締役兼常務執行役
2014年 6月 取締役兼代表執行役専務
2015年 4月 取締役兼代表執行役専務営業支援本部長
2015年 6月 取締役兼代表執行役頭取(現職)

取締役兼常務執行役 佐野 慎治

1986年 4月 福井銀行入行
2003年 7月 粟野支店長
2006年 3月 経営企画グループ経営企画チーム
サブリーダー
2007年 11月 経営企画グループ経営企画チーム
サブリーダー兼秘書室長
2008年 6月 経営企画グループ法務チームリーダー兼
お客さま相談室長
2010年 9月 経営企画グループ経営企画チームリーダー兼
お客さま相談室長
2011年 8月 リスク統括グループコンプライアンス
統括チームリーダー兼お客さま相談室長
2014年 6月 取締役
2017年 6月 取締役兼常務執行役企画本部長(現職)

取締役兼常務執行役 湯浅 徹

1986年 4月 福井銀行入行
2001年 9月 福井市役所支店長
2003年 4月 福井西エリア営業グループ長兼
福井西エリア統括副支店長
2006年 6月 新規専担プロジェクトチームリーダー
2006年 8月 本店営業部副部長
2008年 6月 越前海岸エリア統括店長兼越前町支店長
2009年 9月 勝山支店長
2012年 5月 武生エリア統括店長兼武生支店長
2013年 6月 執行役員武生エリア統括店長兼武生支店長
2015年 4月 執行役員本店エリア統括店長兼本店営業部長
2015年 6月 執行役本店エリア統括店長兼本店営業部長
2017年 6月 取締役兼常務執行役営業支援本部長(現職)

執行役 渡辺 統

1987年 4月 福井銀行入行
2005年 3月 経営企画グループ統合リスクチームサブリーダー
2006年 7月 経営企画グループ統合リスクチームリーダー
2009年 4月 経営企画グループ経営企画チームサブリーダー
2011年 8月 リスク統括グループ統合リスクチームリーダー
2012年 5月 神明支店長
2014年 3月 福井東エリア統括店長兼福井中央支店長
2014年 5月 執行役員福井東エリア統括店長兼福井中央支店長
2016年 5月 執行役員リスク統括グループマネージャー
2016年 6月 執行役リスク統括グループマネージャー
2017年 6月 執行役ALM副本部長リスク統括グループ
マネージャー(現職)

執行役 吉田 正武

1989年 4月 福井銀行入行
2007年 6月 武生北支店長
2009年 7月 富山支店副支店長
2011年 1月 草津支店長
2012年 6月 高浜エリア統括店長兼高浜支店長
2014年 6月 リスク統括グループコンプライアンス統括
チームリーダー兼お客さま相談室長
2017年 6月 執行役員敦賀エリア統括店長兼敦賀支店長
2019年 3月 執行役員敦賀エリア統括店長兼敦賀支店長兼
敦賀港支店長
2019年 6月 執行役本店エリア統括店長兼本店営業部長(現職)

取締役兼常務執行役 長谷川 英一

1988年 4月 福井銀行入行
2005年 5月 営業グループ法人営業チームリーダー
2007年 1月 法人営業グループ法人営業チームリーダー兼
海外支援チームリーダー
2007年 3月 法人営業グループマネージャー
2007年 11月 富山エリア統括店長兼富山支店長
2008年 10月 富山エリア統括店長兼富山支店長兼
富山南支店長
2010年 9月 企業サポートプロジェクトチームリーダー
2011年 8月 融資グループ融資チーム企業サポート室長
2013年 2月 営業グループマネージャー
2015年 4月 執行役員敦賀エリア統括店長兼敦賀支店長
2017年 6月 執行役本店エリア統括店長兼本店営業部長
2019年 6月 取締役兼常務執行役ALM本部長(現職)

取締役兼執行役 佐竹 範之

1986年 4月 福井銀行入行
2003年 2月 上北野支店長
2004年 12月 金沢エリア営業グループ副グループ長
2005年 7月 金沢支店副支店長
2006年 2月 個人営業グループ個人営業企画チームリーダー
2006年 10月 リテール営業グループ
リテール営業企画チームリーダー
2009年 4月 坂井町支店長
2011年 1月 小松支店長
2013年 9月 経営企画グループ経営企画チームリーダー
2015年 4月 執行役員武生エリア統括店長兼武生支店長
2017年 6月 取締役
2019年 6月 取締役兼執行役営業支援副本部長
融資支援グループマネージャー(現職)

取締役 前田 英之

1987年 4月 福井銀行入行
2005年 3月 福井東エリア営業グループ長
2007年 6月 融資グループ審査チームリーダー兼
融資管理チームリーダー
2008年 10月 神明エリア統括店長兼神明支店長
2012年 5月 敦賀エリア統括店長兼敦賀支店長
2013年 6月 執行役員敦賀エリア統括店長兼敦賀支店長
2015年 4月 執行役員融資支援グループマネージャー
2015年 6月 執行役営業支援副本部長
融資支援グループマネージャー
2019年 6月 取締役(現職)

取締役(社外) 内上 和博

1991年 4月 東京地方検察庁検事
1992年 4月 福岡地方検察庁小倉支部検事
1994年 4月 大阪地方検察庁検事
1996年 4月 大津地方検察庁検事
1997年 4月 司法研修所教官事務補助(所付検事)
1998年 4月 法務省刑事局法務事務官(局付検事)
2001年 1月 最高検察庁検察官事務取扱検事
2003年 7月 退官
2003年 9月 北川法律事務所勤務(現職)
2014年 6月 福井銀行取締役(現職)

取締役(社外) 南保 勝

1984年 4月 株式会社福井経済経営研究所経営相談部
1991年 4月 株式会社福井経済経営研究所経営相談部主任調査役
1994年 4月 株式会社福井経済経営研究所経済調査部経済調査課長
2000年 9月 福井銀行融資グループ審査チーム経済調査担当
2001年 3月 福井銀行退職
2001年 4月 福井県立大学地域経済研究所助手
2004年 4月 福井県立大学地域経済研究所助教授
2008年 7月 公立大学法人福井県立大学地域経済研究所准教授
2009年 4月 公立大学法人福井県立大学地域経済研究所教授、
博士(経済学)
2012年 4月 公立大学法人福井県立大学地域経済研究所
地域経済部門リーダー・教授、博士(経済学)
2015年 6月 福井銀行取締役(現職)
2017年 4月 公立大学法人福井県立大学地域経済研究所長・
教授、博士(経済学)(現職)

取締役(社外) 三屋 裕子

1981年 4月 株式会社日立製作所入社
1990年 4月 筑波大学非常勤講師
2010年 7月 株式会社サイファ代表取締役
2011年 4月 学校法人藤村学園理事(現職)
2012年 4月 筑波大学経営協議会委員
2014年 4月 東京女子体育大学・短期大学客員教授
2014年 6月 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会顧問(現職)
2014年 6月 公益財団法人日本バレーボール協会評議員(現職)
2015年 3月 藤田観光株式会社社外取締役
2015年 4月 株式会社パロマ社外取締役
2016年 6月 公益財団法人日本バスケットボール協会代表
理事(現職)
2017年 5月 国際バスケットボール連盟理事(現職)
2018年 3月 株式会社SORA代表取締役(現職)
2018年 6月 福井銀行取締役(現職)
2019年 6月 株式会社デンソー取締役(現職)
2019年 6月 JXTGホールディングス取締役(現職)

コーポレート・ガバナンス体制一覧

組織形態	指名委員会等設置会社	
取締役の人数	9名(うち社外取締役3名)	
取締役の任期	1年(社外取締役も同様)	
取締役会	構成	9名(うち社外取締役3名)
	2018年度開催数	16回
経営会議	構成	9名
	2018年度開催数	49回
指名委員会	議長	社外取締役
	構成	3名(うち社外取締役2名)
報酬委員会	2018年度開催数	3回
	議長	社外取締役
監査委員会	構成	3名(うち社外取締役2名)
	2018年度開催数	14回

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当行は、2007年6月より組織形態を「委員会設置会社(現在の指名委員会等設置会社)」に移行し、その特徴である「業務執行と監督の分離によるガバナンス態勢の強化」「業務執行の決定権限の委任による業務執行のスピードアップ」「社外取締役が過半数を占める三委員会の設置による経営の透明性向上(当行では三委員会とも社外取締役が委員長を務めております)」を実現するとともに、次の基本的な考え方に沿って、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでおります。

- (1) 当行は、株主のみなさまの権利を尊重するとともに、株主のみなさまの平等性の確保に努めます。
- (2) 当行は、株主のみなさまを含むステークホルダーの利益を考慮するとともに、ステークホルダーとの適切な協働に努めます。

- (3) 当行は、非財務情報を含む会社情報を適切に開示するとともに、その会社情報の透明性の確保に努めます。
- (4) 当行は、独立社外取締役が中心的な役割を担う体制を構築するとともに、その体制を活かして、取締役会による業務執行の監督機能の実効性向上に努めます。
- (5) 当行は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、株主のみなさまとの建設的な対話の実施に努めます。

指名委員会等設置会社

業務執行と監督の分離によるガバナンス態勢の強化

取締役会については、取締役9名で構成されており、経営方針などの重要事項の決定、取締役会が選任した執行役等の職務の執行の監督を行います。このうち社外取締役は3名選任されております。

業務執行の決定権限の委任による業務執行のスピードアップ

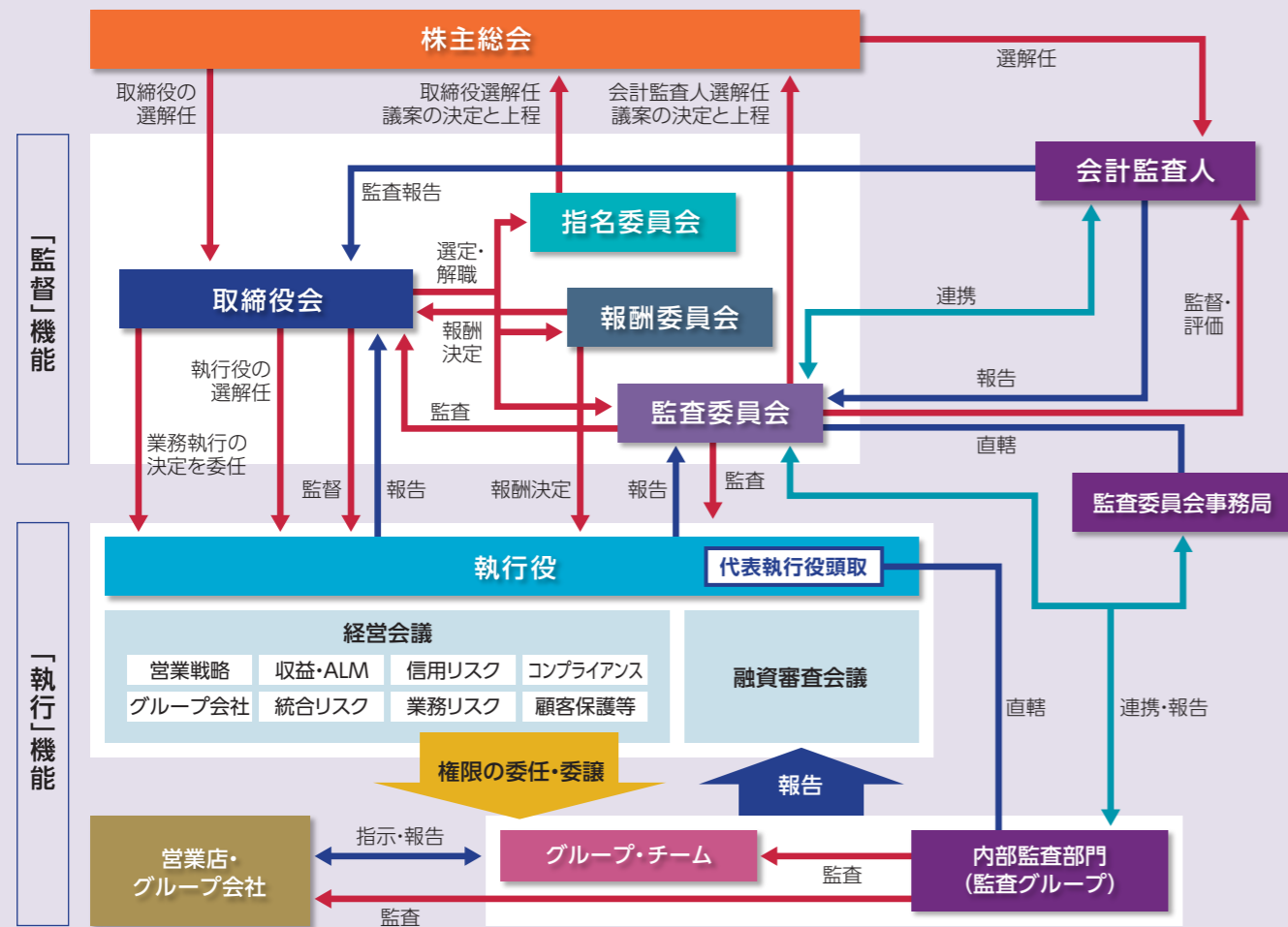
取締役会は執行役を選任し、執行役は取締役会から委任を受けた事項についての業務執行の決定及び業務の執行を行っております。このうち、重要事項については、執行役の合議による決議機関である各種会議で決定されます。取締役会から執行役に業務執行の決定権限が大幅に委任されることにより、迅速な業務執行が可能となっております。

社外取締役が過半数を占める三委員会の設置による

経営の透明性向上

法令に基づき、指名委員会、報酬委員会、監査委員会を設置しております。これら三委員会は、それぞれ3名の取締役から構成されておりますが、いずれの委員会においても、弁護士や博士(経済学)、企業経営者として高い専門性を有する社外取締役が過半数を占め、かつ委員長を務めており、経営の透明性が一層図られております。

コーポレート・ガバナンス体制の概要



取締役会

取締役9名(男性8名・女性1名)、うち社外取締役3名(男性2名、女性1名)により構成されており、取締役会の開催・決議方法・付議基準等を定めた取締役会規程に従い、経営上の重要事項に係る意思決定と執行状況の監督機能が十分に確保できるよう適切な運営を行っております。特に、社外取締役については、独立した立場から高い監督機能の発揮を求めています。

三委員会

	主な役割
指名委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、指名委員会規程に従い、株主総会に提出する取締役の選任・解任に関する議案の内容等を決議しております。2018年度は3回開催しております。
報酬委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、報酬委員会規程に従い、取締役及び執行役が受ける個人別の報酬等の内容の決定に関する方針並びに個人別の報酬等の内容を決議しております。2018年度は4回開催しております。
監査委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、監査委員会規程に従い、監査の方針、監査計画、株主総会に提出する会計監査人の選解任議案等の事項について決議しております。2018年度は14回開催しております。

社外取締役の役割や機能

当行は、指名委員会等設置会社として、指名委員会、報酬委員会、監査委員会の三委員会を設置しており、各委員会の構成員は社外取締役が過半数を占め、かつ委員長を務めております。

社外取締役は各委員会の構成員としての職務を通じて企業統治体制構築に努めております。

また、取締役会においては、経営上の重要事項に係る意思決定と執行状況に関して、独立した立場から監督機能を発揮し取締役会全体の実効性の向上をはかっております。その監督にあたっては、株主のみならずははじめとした社外ステークホルダーの視点から「当行の持続的成長」を検討・判断の観点に加え意見を表明しております。

	氏名	専門性	分野	2018年取締役会出席率	三委員会
社外取締役	内上 和博	弁護士	企業法務	100%	報酬委員会100% 監査委員会92.8%
社外取締役	南保 勝	博士	経済学	93.75%	指名委員会100% 監査委員会92.8%
社外取締役	三屋 裕子	企業経営者	企業経営	100%	指名委員会100% 報酬委員会100%

取締役会の実効性の分析・評価の実施

2019年3月、「社外取締役連絡会」による分析・評価結果及び提言事項に基づき、取締役会において実効性の分析・最終評価を実施するとともに、取締役会の実効性の一層の向上に向けて取り組む事項を議論・確認いたしました。

総評

当行の取締役会は、2019年3月時点において当行の規模に即した員数(執行役兼務取締役4名、取締役5名(うち社外取締役3名)、執行役2名)が確保され、社外取締役を含め自由な意見・提言による議論が行われております。また、指名委員会等設置会社の特徴である、執行役による業務執行機能と、社外取締役を中心とした監督機能は有効に機能しております。以上より、取締役会の実効性は確保されているものと判断・評価いたしました。

2018年度の取組み

取締役会の実効性向上に向けて、特に、以下の事項に取り組ましました。

- ①取締役会における議論のさらなる強化および高度化について
当行の抱える喫緊の課題について、取締役会において重点的に議論がされており、取締役会において重要事項の計画・対応策・進捗等について適切に協議を行いました。
- ②株主・お客さまへの情報発信の強化・継続実施
対面型・非対面型の両チャンネルを活用し、積極的に当行の情報発信の強化・継続を行い、当行のファン・支援者を創造し、さらに、地元株主・お客さまを増やす取組みを実施いたしました。

今後の取組み

引き続き、下記の事項に取り組むことで、当行の取締役会の実効性をさらに高めてまいります。

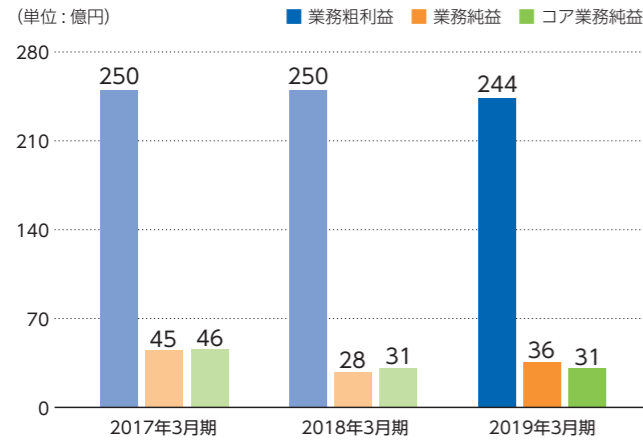
- ①取締役会における議論のさらなる強化および高度化について
取締役会での議論の時間を、当行の中長期的かつ根幹的な案件にさらに振り向け、当行の課題や戦略といった重要事項の対応策・改善策・進捗等についての議論を強化することで、対策の実効性を向上させ、当行の安定的な成長につなげてまいります。
- ②株主・お客さまへの情報発信の強化・継続実施
株主・お客さま・地域に対して、当行施策や取組みについて積極的かつ継続的に情報発信を行っていくことで、当行の持続的な成長や中長期的な企業価値の向上につなげてまいります。

財務ハイライト

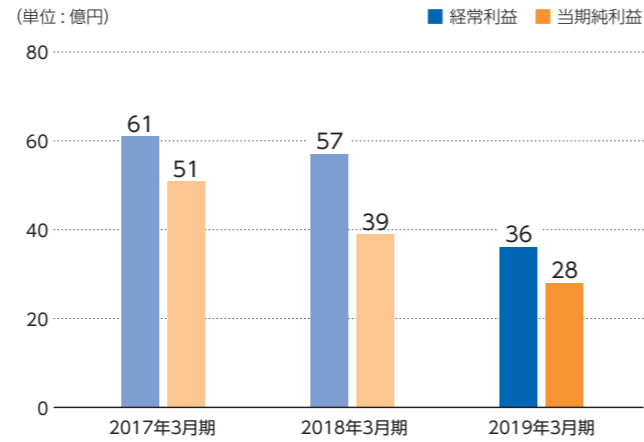
2019年3月期の決算についてお知らせします。

■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

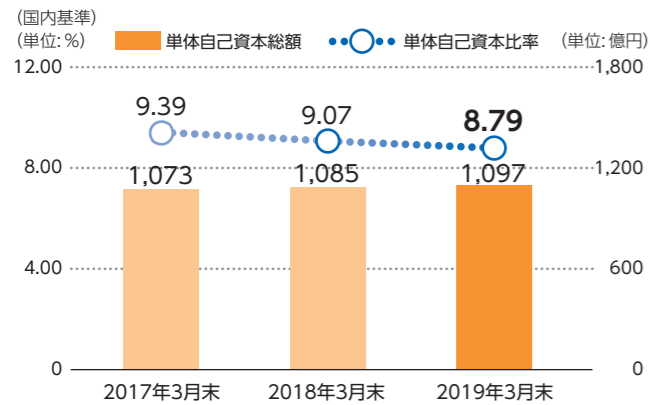


経常利益・当期純利益〈単体〉



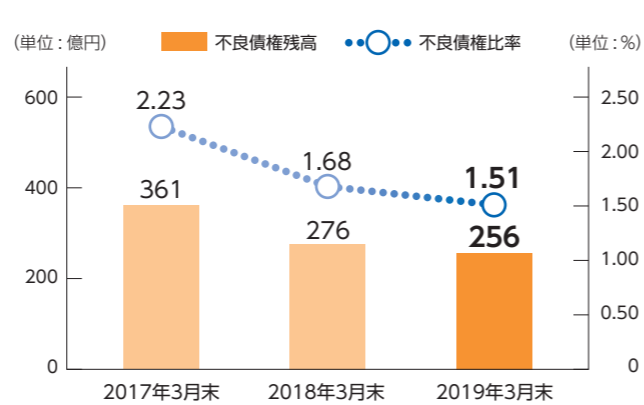
業務粗利益は、貸出金利や有価証券配当金の減少を要因として、前期比減益となりました。業務純益は、経費の減少や債券関係損益の増加により、前期比増益となりましたが、コア業務純益は、業務粗利益の減少の影響が大きく、前期比減益となりました。経常利益及び当期純利益は、コア業務純益の減少に加え、与信関係費用の増加などから、前期比減益となりました。

■ 自己資本比率〈単体〉



2019年3月末の単体自己資本比率は貸出金の増加を主因としたリスクアセットの増加により8.79%と前期比低下しておりますが、健全性を十分に確保しています。

■ 不良債権



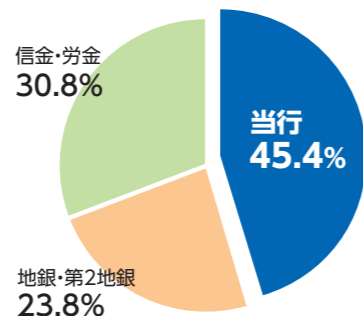
2019年3月末の不良債権残高は、お取引先の経営改善のお手伝いや不良債権処理を進めたことで前年度末比20億円減少し、256億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.17ポイント改善して1.51%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

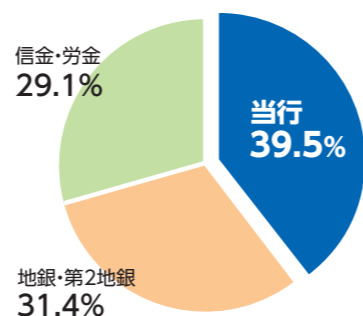
(2019年3月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア

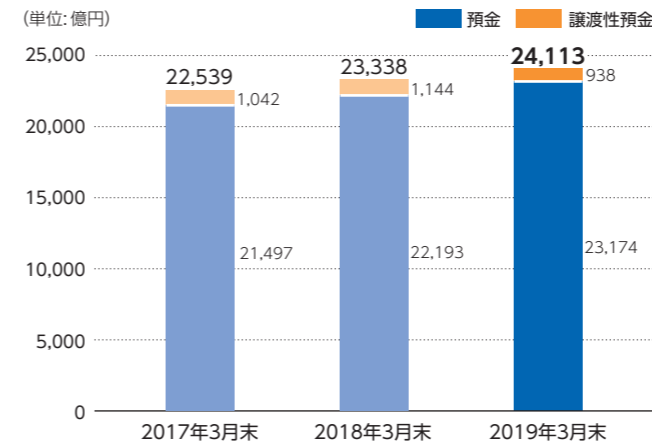


福井県内の貸出金シェア



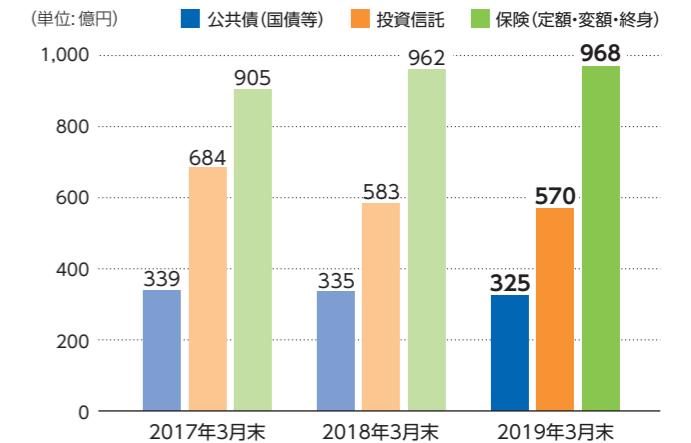
■ 預金等残高・預り資産残高

預金等



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・金融が増加したことから、全体で期中775億円増加し期末残高は2兆4,113億円となりました。

預り資産

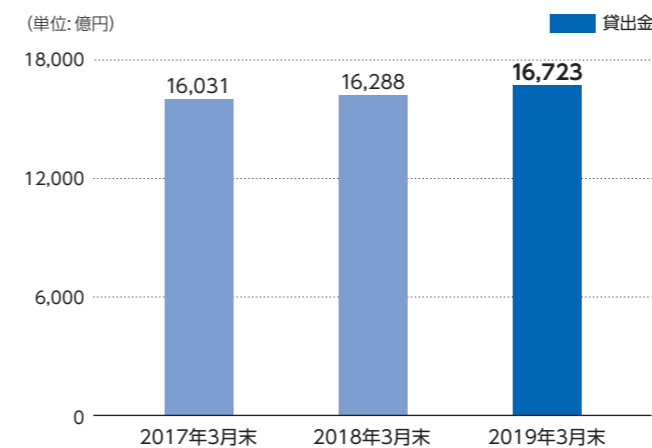


公共債(国債等)は、期中10億円減少し期末残高は325億円となりました。投資信託は期中13億円減少し期末残高は570億円となりました。保険(定額・変額・終身)は、期中6億円増加し期末残高は968億円となりました。

公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額+1万円) 保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

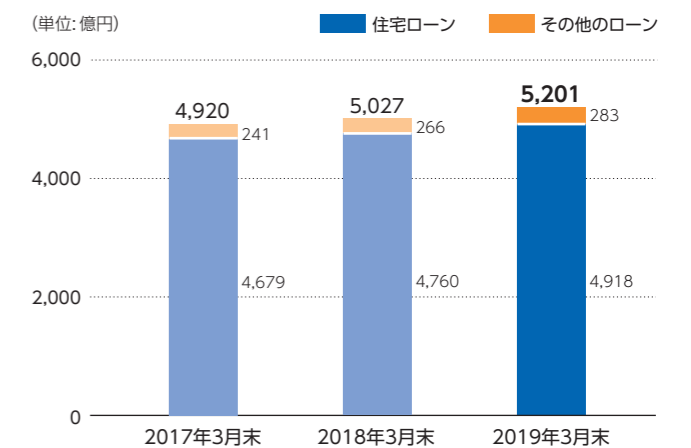
■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中435億円増加し期末残高は1兆6,723億円となりました。

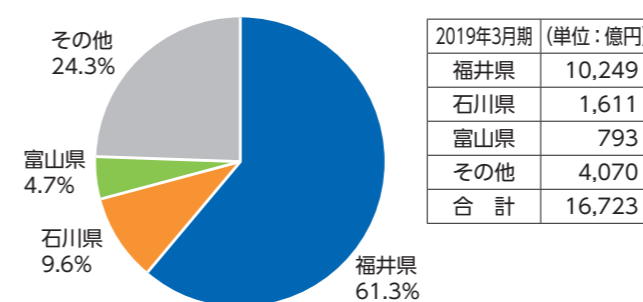
消費者ローン



消費者ローンは、期中174億円増加して期末残高は5,201億円となりました。うち住宅ローンは、期中158億円増加して期末残高は4,918億円となりました。

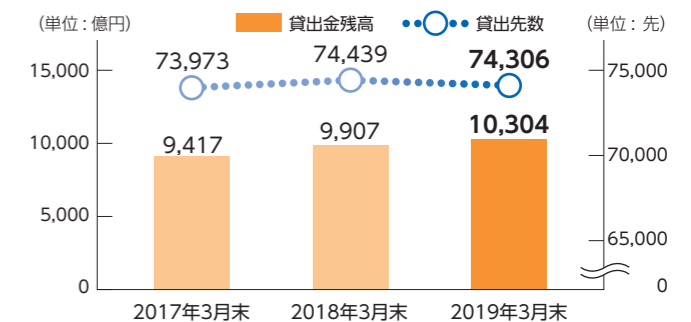
■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

貸出金残高の地域別内訳



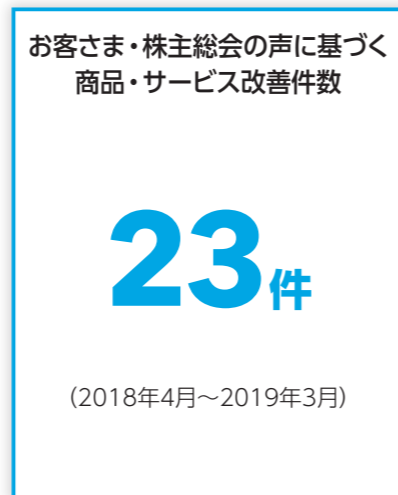
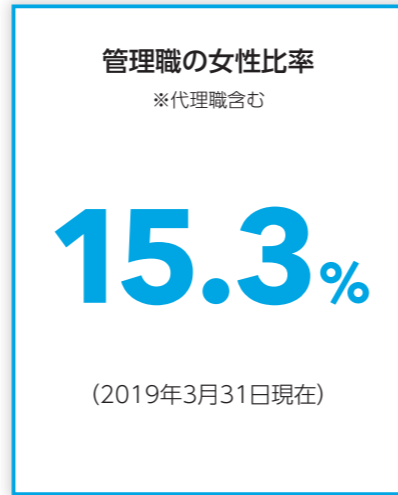
北陸3県内での貸出金は1兆2,653億円、(うち福井県内10,249億円)であり、貸出金全体の75.6%(うち福井県内61.3%)となっております。

中小企業等向け貸出金



中小企業等向け貸出金残高は期中397億円増加し1兆304億円となり、総貸出金残高の61.6%となりました。また、貸出先は、期中133先減少し74,306先となりました。

非財務ハイライト



※20代～30代の職員の割合は48.0%です。



地域密着型金融への取り組み

福井銀行の地域密着型金融推進の取組方針は、当行の企業理念「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」そのものであり、役職員に深く浸透しております。

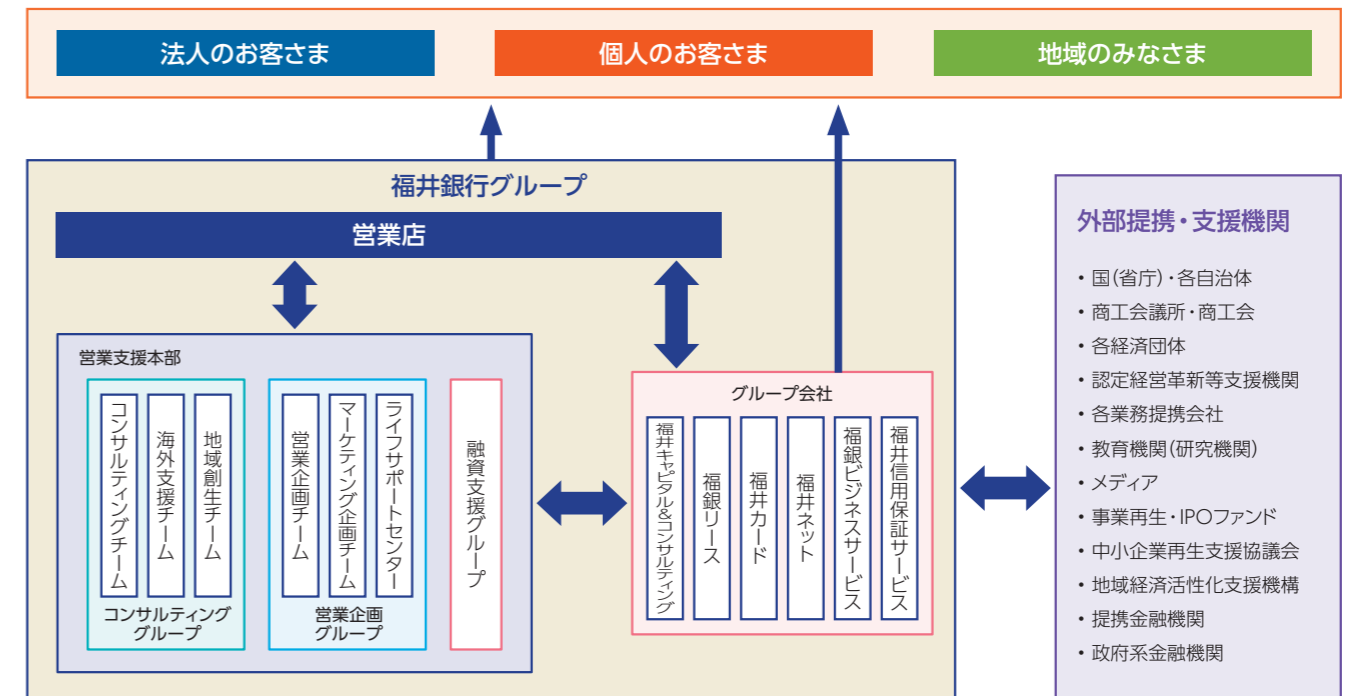
2018年4月よりスタートした中期経営計画「『企業理念』の実現に向けて(第1章)～より早く、より深く、より広く～」のもと、地域金融機関として、地域の『働く場所』『働く人』をふやし、コンサルティング機能を強化することで、地域やお客さまの課題解決とさらなる成長、資産形成のお手伝いをするのが、“地域の活性化”すなわち“企業理念”の実現につながるものと位置付け、地域密着型金融に取り組んでまいります。



地域密着型金融の推進に向けた態勢整備の状況

2018年4月より本部に設置した「コンサルティンググループ」をはじめとする営業支援本部とグループ会社6社、営業店がグループ一体となって地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

また、外部提携・支援機関等との幅広いネットワークの活用など質の高いサービスを提供する態勢を構築し、それぞれの持つ強みやノウハウを融合し、お客さまが抱えるニーズや課題解決をサポートしております。

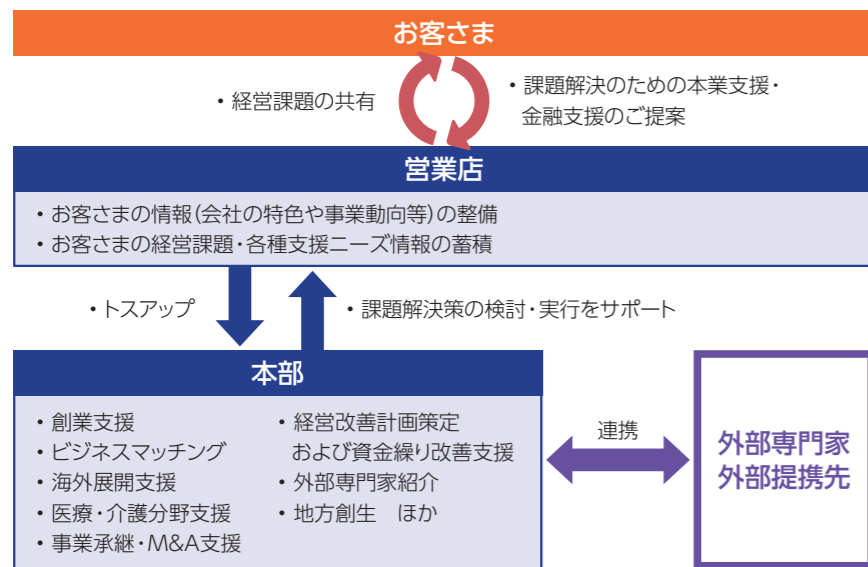


法人のお客さまへ ～金融・成長支援～

法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

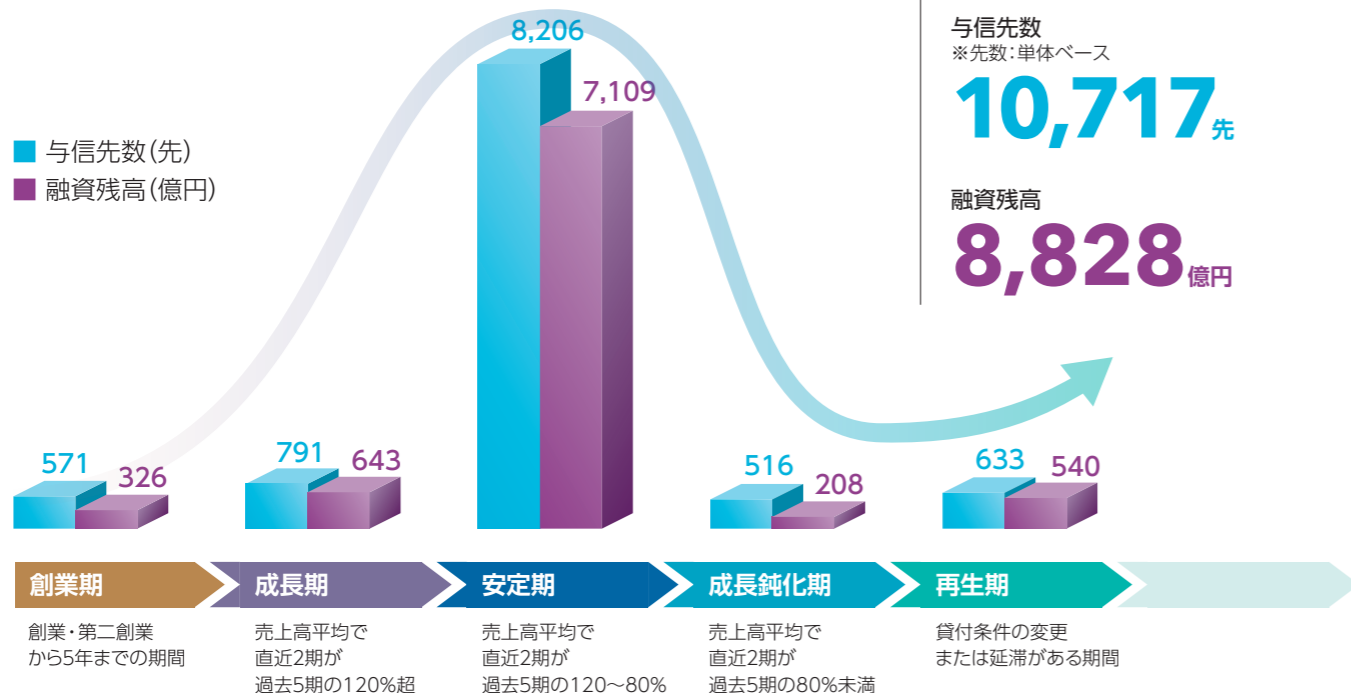
～事業性理解への取組み～

企業理念「地域産業の育成・発展」の実現に向け、当行は、お客さまとの日々のリレーション強化を通じ、ビジネスモデルの深掘りから経営課題や事業ニーズの把握に取り組んでおります。お客さまの経営課題を営業店と本部が共有・連携し、課題解決のための最適な本業支援、金融支援に努めてまいります。



ライフステージ別支援

お客さま個々の状況に応じた最適なコンサルティングを目指し、上記、事業性理解への取組み方針に基づくライフステージ別支援を継続的に進めてまいります。



事業性理解に基づく融資を行っている与信先数および融資残高(2019年3月末)

与信先数
※先数:単体ベース
9,901先
前期比+1,144先

融資残高
7,376億円
前期比+2,732億円

※先数:単体ベース…同一グループ内の各社をそれぞれ1社として計上

ライフステージ別の与信先数および融資残高(2019年3月末)

与信先数
※先数:単体ベース
10,717先
融資残高
8,828億円

創業期

創業・新規事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通じた情報提供などにより、支援の強化に取り組んでまいります。

1 当行のネットワークを活用したトータルサポート

当行グループのネットワークを活用し、お客さまの事業開始から軌道にのるまでトータルでサポートしております。

- サポート1 創業計画書の策定支援**
創業・開業を決断した「動機」や「目的」を明確にした上で、実現するための具体的な事業計画や資金・収益計画の策定をサポートします。
- サポート2 資金の調達**
「ふくぎん創業支援ファンド」やクラウドファンディング、各種補助金などを活用した資金調達をサポートします。
- サポート3 設備やシステムの導入**
当行グループ会社と連携し、リースを活用した設備導入やクレジットカード端末の設置、円滑な経営のための各種システムの導入をサポートします。
- サポート4 販路の開拓・拡大**
販路開拓のための商談会や各種セミナーの開催、ホームページやネットショップの開設をサポートします。
- サポート5 事業が軌道にのるまでの継続的な支援**
本部専門担当者や外部専門家による経営相談・指導を行います。また、運転資金枠「ビジネスビップライン」を活用し、事業が軌道にのるまでの継続支援を行います。

2 日本政策金融公庫(国民生活事業)との創業支援スキーム「W-ing(ウイング)」

2017年9月に日本政策金融公庫福井、武生両支店(国民生活事業)と連携して、福井県内の創業者を対象とした協調支援スキーム「W-ing(ウイング)」を創設しました。創業をお考えのお客さまの相談にワンストップで応じ、事業計画の策定から資金支援までを協調して行い、創業後も事業成長に向けたフォローアップを継続して行います。

TOPICS

創業支援セミナーを開催

2018年11月に「W-ing」創業支援セミナー」を日本政策金融公庫(国民生活事業)と共同開催し、創業の実例や成功ポイントについて紹介しました。創業をお考えのお客さまや創業されて間もないお客さまを中心に30先のお客さまがセミナーに参加されました。



創業支援先数および支援内容別先数(2018年度中)

創業支援先数
303先
前期比+19先

創業計画策定先数
48先
前期比▲2先

創業期のお客さまへの融資先数
289先
前期比+13先

「W-ing(ウイング)」取組先数(2018年度中)

15先

Comment

営業企画グループ
営業企画チーム
坪田 行員



「お客さまの事業が軌道にのるまでの継続的な支援」をテーマに、資金面のご相談だけでなく、事業計画作成や補助金情報、販路拡大など、創業時における様々な課題に対する解決策を提供しております。地元福井に1社でも多くの元気ある企業が増えることを目標に、創業者の方の熱意にお応えします。

情報発信 ● Realize ～わたしの創業ストーリー～

当行ホームページおよびFacebookに、当行の支援により創業されたお客さまの体験談を掲載し、創業をお考えのお客さまへの情報提供や当行の支援により創業されたお客さまの販路拡大支援に取り組んでおります。くわしくは、当行ホームページ「法人のお客さま」よりご覧ください。

● 2018年度 掲載実績:5先



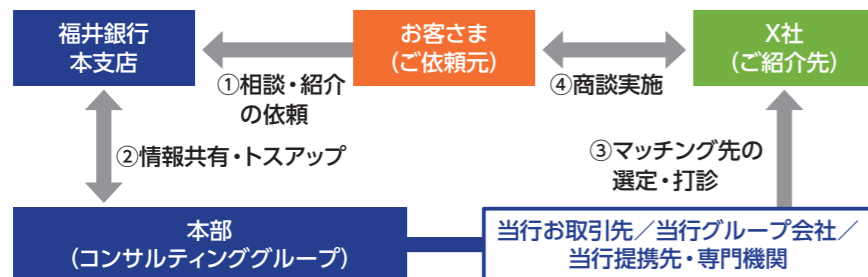
成長期・安定期・成長鈍化期

成長支援

成長期、安定期、成長鈍化期のお客さまには、国内外の商談会やセミナーの開催を通じたビジネスマッチングの機会や情報の提供、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、専担部署の帯同訪問や情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでまいります。

1 ビジネスマッチング

本部コンサルティンググループの専門担当がお客さまのニーズに対し、最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立までを営業店と一体となってサポートしております。



● 主なマッチング例

販売・仕入	新たな販売/仕入チャネルのご紹介など
コスト削減・合理化	社内システムの効率化・諸経費削減ニーズに対し、ソリューションパートナーのご紹介など
生産・技術・販売などの業務提携	新製品・新技術開発パートナーのご紹介など
事業多角化	新規事業進出ニーズに対し、FC展開・代理店などパートナー企業のご紹介など
物流効率化	物流アウトソーシング、特徴ある物流業者のご紹介など

2 商談会開催による販路開拓

「百貨店」や「高速道路サービスエリア」「福井の食」など、様々なテーマ・目的での商談会を開催し、お客さまの商品のPRや大手企業・多数の業者との商談の場の創出に取り組んでおります。

TOPICS

六ツ星観光プロジェクトNEXCO中日本金沢支社商談会を開催

「六ツ星観光プロジェクト」とは、東海・北陸地区の地方銀行6行(福井・北國・富山第一・百五・名古屋・十六)が連携しながら地域活力の創出に取り組む、東海・北陸6県の観光ブランドの向上を目指すプロジェクトです。その取組みの一環として、2018年11月に『六ツ星観光プロジェクトNEXCO中日本金沢支社商談会』を開催し、16先のお客さまが参加されました。



情報発信 ● ヒロちゃんが行く! ふくい食巡り

食を通じた地域活性化を目指し、福井のおいしい食材をご紹介します。くわしくはFacebook「ヒロちゃんが行く」で検索し、ご覧ください。



ソリューション提案を行った先数 (2018年度中)

2,228先
前期比+25先

商談会参加先数 (2018年度中)

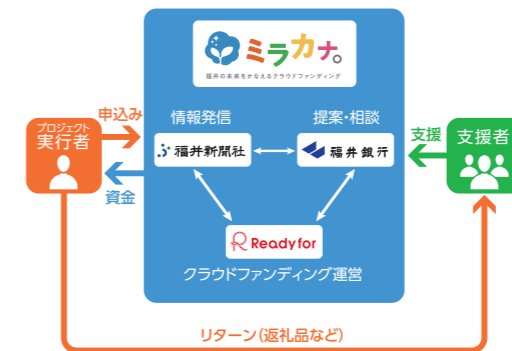
63先

2018年度中に開催・参加した商談会

2018年 7月	三越伊勢丹バイヤーミーティング 2018
2018年 9月	カナカン2018年秋季総合企画商談会
2018年 9月	第29回NAGOYAフードビジネスショー
2018年10月	第13回地方銀行フードセレクション2018
2018年11月	第9回ネットワーク商談会 IN 大阪
2018年11月	六ツ星観光プロジェクト NEXCO中日本金沢支社商談会
2019年 2月	越前・若狭の海の幸フェア in 銀座
2019年 2月	カナカン2019年春季総合企画商談会
2019年 3月	クラブ円頓寺2019

3 クラウドファンディング「ミラカナ。」

2018年4月に、株式会社福井新聞社およびREADYFOR株式会社と連携し、福井県に特化したクラウドファンディングサービス「福井の未来をかなえるクラウドファンディング」*サービス「ミラカナ。」を開始しました。「ミラカナ。」は、「全国の“やさしいお金”を福井へ」をテーマに、福井県内におけるクラウドファンディング利用の活性化を図るプラットフォームです。お客さまの事業資金の調達にクラウドファンディングという新たな手段を加え、お客さまの成長機会の創出に寄与してまいります。



● 「ミラカナ。」のメリット

1. 自身のやりたいことや目標を、世間に広く知らせることができる
2. 全国から「ファン」「支援者」を獲得できる
3. アイデアが世の中に受け入れられるかマーケティングができる

TOPICS

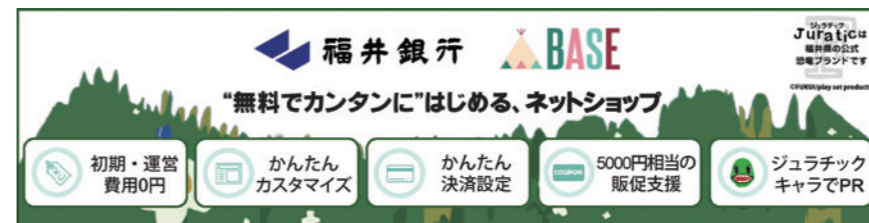
「ミラカナ。」で新事業創出支援

アパレル用の反射素材を用いた商品の企画・製造・販売を行っている企業の新ブランド立ち上げに伴い、広報と資金調達を兼ねたクラウドファンディングを支援しました。目標達成後も複数の企業から問合せがあり、さらなる事業拡大につながっています。



4 ネットショップ開設支援「BASE(ベース)」

「BASE(ベース)」は、ものづくりを行う個人、ビジネスを展開する法人、地方自治体をはじめとする行政に幅広くご利用いただいているネットショップ作成サービスです。これまで「BASE」で開設されたネットショップ数は50万店舗を超えています。国内最大級のショップ開設数を誇る「BASE」と、地域活性化に取り組む「福井銀行」が連携し、ネットショップを活用した販路拡大を支援します。



TOPICS

「BASE」セミナーを開催

「ネットショップの売上を伸ばしたい」「アイデアを商品化したい」という、具体的な課題・アイデアをお持ちのお客さまや「ネットショップって大変そう」「インターネットは難しそう」という、興味はあるけど未経験のお客さま向けなどテーマ別のセミナーを定期的で開催しております。2018年度は「BASEで始めよう! ネットショップ!」セミナーを2回開催し、ネットショップ運営の現状や売り上げを伸ばす秘訣について紹介しました。

「ミラカナ。」登録件数 (2018年度中)

11件

うち目標金額達成件数 (2018年度中)

11件

※クラウドファンディング (Crowd Funding)

群衆 (Crowd) と資金調達 (Funding) という言葉を組みあわせた造語で、「自分の作ったモノを商品化した」「災害被害にあった施設を復旧したい」など、様々な理由でお金を必要としている人に対し、共感した人が一口1,000円程度からインターネットを通じて出資し支援をする。こうしたインターネット上で多数の人から資金を募る仕組みを言います。融資や投資と違って返済や配当の必要がなく、事業性が見えにくいアイデアや新しいチャレンジでもリスクを抑えることができ、テストマーケティングにもご利用いただけます。

ネットショップ開設支援件数 (2018年度中)

47件



成長期・安定期・成長鈍化期 **成長支援**

5 リース活用サポート

当行グループ会社である福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替を支援しております。お客さまの設備投資に対して、銀行融資とリース商品の一体的な提案を行うことでお客さまの資金調達手段の多様化や、設備管理にかかる事務の合理化につながる支援を実施しております。

- メリット1 初期負担の軽減**

設備投資による初期負担をリースにより平準化することで、導入時の資金負担が軽減されます。
- メリット2 資金調達の多様化**

金融機関からの借入による購入も、リースも、物件を使用するという点では全く変わりありません。リース利用によって、実質上設備投資について借入したのと同じ効果が得られます。しかも金融機関からの借入枠は温存されることになり、資金調達力に余裕ができます。
- メリット3 コストの把握**

リース料の支払は通常、毎月一定額ですので、コスト意識を高めることができます。
- メリット4 事務の合理化**

リースを利用することにより、減価償却計算、固定資産税の申告納付、損害保険の付保管理、資産処分手続きが省略でき、管理事務の合理化が図れます。
- メリット5 金利変動リスクの回避**

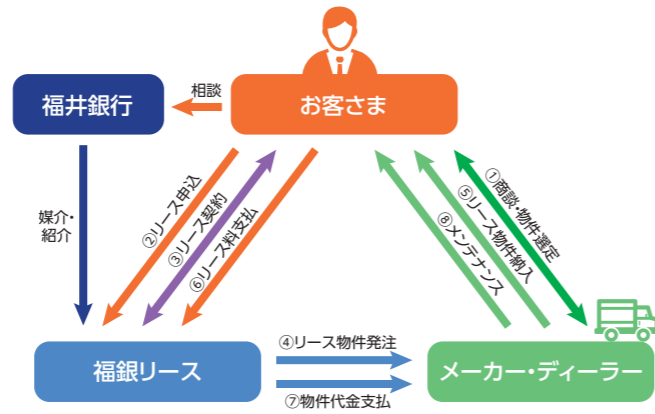
リース料は期間中固定ですので、金利変動リスクが回避されます。

リース活用支援件数
(2018年度中)

500件

※所有権移転外ファイナンス・リース
福銀リースがお客さまの指定した機械設備を購入し、その物件をお客さまへ長期にわたり賃貸する取引形態です。機械設備などの取得価格や諸費用をリース期間中に全額支払うことや中途解約ができないなどの要件が定められています。

当行では「所有権移転外ファイナンス・リース*」を取り扱っています。お客さまに福銀リースの商品を提案する「媒介・紹介」業務を行い、福銀リースが審査・リース契約の締結などを行います。



● 主要リース物件

<p>情報関連機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューター機器 ・CAD/CAMシステム ・電話交換機 ・複合機 ・ファクシミリ ・通信システム ・放送用設備 	<p>医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRI装置 ・CTスキャナ ・超音波診断装置 ・リハビリテーション関連機器 	<p>産業用機械設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業用ロボット ・鍛圧機械 ・NC工作機械 ・射出成型機 ・印刷製本機械 ・半導体製造装置 ・コージェネレーションシステム 	<p>商業設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍・冷蔵ショーケース ・自動販売機 ・包装機器 ・洗車機 ・厨房機器 ・POSシステム ・自動倉庫システム ・業務用クリーニング機械
<p>土木建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン ・油圧ショベル ・ブルドーザー ・ボーリングマシン 	<p>輸送用機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ ・フォークリフト ・車両 	<p>事業用機器・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業車両(社長車含む) ・LED蛍光灯 ・空調設備 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場設備機器 ・立体駐車場設備 ・トラクターなど農業機械

6 海外ビジネスサポート

県内企業のグローバル化が進むなか、経済成長を続ける中国、東南アジアを中心とする海外市場の取り込みが重要な課題となっています。当行は、海外駐在経験を有する専門担当者が海外拠点と連携し、海外での事業拡大に向けた幅広い支援に取り組んでおります。



海外支援チームによる支援件数
(2018年度中)

154件

Comment

コンサルティンググループ
海外支援チーム
黒瀬行員

近年、中国や東南アジア諸国の経済成長に伴って、国民の所得や購買力が上昇しています。海外消費者の消費力・購買力は日本企業にとって何よりも魅力的な海外への販路拡大を目指す理由です。海外支援チームメンバーの海外経験や語学力を活かし、日本企業の「より良いもの」をより多く海外の消費者に届けられるよう全力サポートいたします。

<p>海外進出・事業展開関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商慣習や消費動向を知りたい ……》 最新の進出先情報をご提供 ✓ 販路を拡大したい ……》 ビジネスマッチング・セミナー・商談会の開催 ✓ 現地の規制などを知りたい ……》 各種規制・法人設立などのアドバイス
<p>貿易関連(輸出・輸入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 為替リスクを軽減したい ……》 為替リスクヘッジ商品のご提案 ✓ くわしく法律を知りたい ……》 会計・税務・財務のアドバイス ✓ 貿易実務を知りたい ……》 輸出入実務のアドバイス
<p>海外ファイナンス関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現地で資金調達したい ……》 提携銀行を通じた外貨建てご融資 ✓ 世界各国へ送金したい ……》 マルチ通貨建て外国送金 ✓ 手軽に為替手続きをしたい ……》 外為WEBサービス

成長期・安定期・成長鈍化期 **成長支援**

海外販路拡大・調達先拡大

お客さまの海外での販路拡大、調達先の多様化等のニーズにお応えするため、セミナー・相談会開催による海外ビジネスに関する最新情報の提供や、ビジネスマッチングによるビジネスパートナーの紹介に積極的に取り組んでおります。

セミナーによる情報提供・個別相談会



海外販路拡大セミナー

インターネットを活用した海外販路拡大にフォーカスした2つのセミナーを開催しました。



アセアン・中国ビジネス個別相談会

企業さまが抱える海外進出・海外展開・拠点運営における課題・問題点について各国の専門家が個別にアドバイスしました。

2018年度中に開催・参加したセミナー・相談会

2018年 5月	WEBサイト多言語化セミナー
2018年 5月	海外販路開拓セミナー(第1回)「越境ECセミナー」
2018年 6月	海外販路開拓セミナー(第2回)「グローバルECセミナー」
2018年 8月	アセアン・中国ビジネス「個別相談会」
2019年 3月	インドビジネスセミナー

ビジネスマッチングによるビジネスパートナーの紹介



Mfair バンコク2018ものづくり商談会

タイでの部品調達・販路拡大を目指す企業に対し、ニーズにあった現地企業とのマッチングをサポートしました。



FBC 上海2018ものづくり商談会

上海での部品調達・販路拡大を目指す企業に対し、現地の製造業と商談を行える機会を提供しました。

2018年度中に開催・参加した商談会

2018年 5月	タイ日系企業ビジネス交流会
2018年 6月	第5回 Mfair バンコク2018ものづくり商談会
2018年 11月	FBC上海2018ものづくり商談会
2019年 1月	第12回 日タイビジネス商談会

海外人材採用・人材育成

海外での事業展開には、各国の事情に精通した優秀なスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留学生の採用や育成に向けたサポートを行っております。



外国人留学生と県内企業の合同企業説明会

外国人高度人材の採用を希望する県内企業と福井県での就労を希望する外国人留学生の出会いの場を提供しました。



外国人人材活用セミナー

外国人技能実習制度の最新情報と活用事例、外国人留学生の採用と定着について各分野の専門家を招き、ご説明しました。

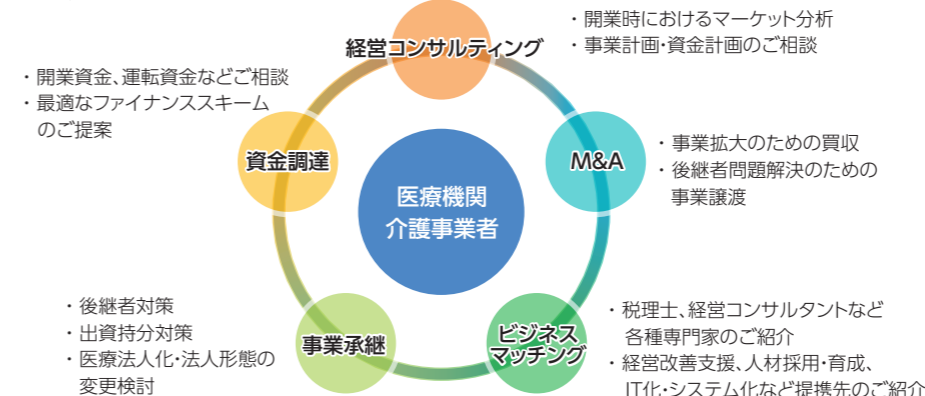


海外ビジネスセミナー

海外に精通したグローバル人材の活用による海外ビジネス展開について情報提供しました。

7 医療・介護分野サポート

医療の高度化や制度改革、少子高齢化など、医療・介護分野を取り巻く環境の変化に対応するため、本部コンサルティングチームに専門担当者を配置し、お客さまの事業継続のための様々な課題解決を通して、地域の医療・介護サービスの充実・発展に取り組んでおります。



TOPICS

医療介護事業者向けセミナーを開催

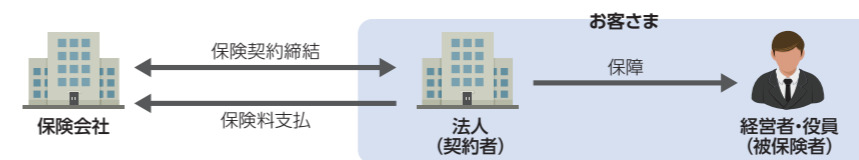
当行では、外部の専門講師を招き、医療機関・介護施設の経営者や実務者のみなさまを対象とした「医療経営セミナー」「介護事業者セミナー」を定期的に開催しております。2018年度は「医療経営セミナー」を4回、「介護事業者セミナー」を1回開催し、のべ162名のお客さまが参加されました。



8 法人保険

お客さまの事業を継続する上での様々なリスクに備えるため、当行の専門担当がお客さまのライフステージや経営環境に寄り添った法人保険のトータルプランニングを行っております。

法人保険とは経営者や役員を被保険者とし、法人が契約する生命保険です。



法人保険には2つの機能がおり、法人の各種リスクに備えることができます。

① 経営者死亡リスクへの備え

- ⇒ 死亡保険金など
- 売上減少に伴う固定費支払資金（人件費・仕入代金・地代など）
- 借入金返済資金
- 死亡退職金、弔慰金準備資金
- 相続・事業承継対策資金

② 経営上起こりうる財務リスクへの備え

- ⇒ 解約返戻金など
- 役員・従業員の退職金準備
- 設備投資資金の準備
- 緊急資金（突発的な資金調達）
- 経営上発生する突発的な損失に対する備え

※法令などの定めにより、当行でご融資を受けられている（お手続きを含む）お客さまには、お取扱いができません。くわしくはお取引店にご相談ください。
※当行は、「保険募集指針」に則って適切な保険募集を行います。当行の保険募集指針はホームページよりご確認ください。

コンサルティングチームによる
支援件数(2018年度中)

57件

Comment

コンサルティンググループ
コンサルティングチーム
稲木行員



少子高齢化や後継者問題などに起因した医療機関、介護事業者を取り巻く経営環境は、年々厳しさを増しています。また、お客さまの課題も複雑化・高度化しています。当行では、お客さまの現状を客観的に分析し、一緒に課題に向きあい、お客さまの置かれている状況に応じた最善の解決プランを1件でも多く提案いたします。

コンサルティングチームによる
支援件数(2018年度中)

109件

Comment

コンサルティンググループ
コンサルティングチーム
斉藤行員

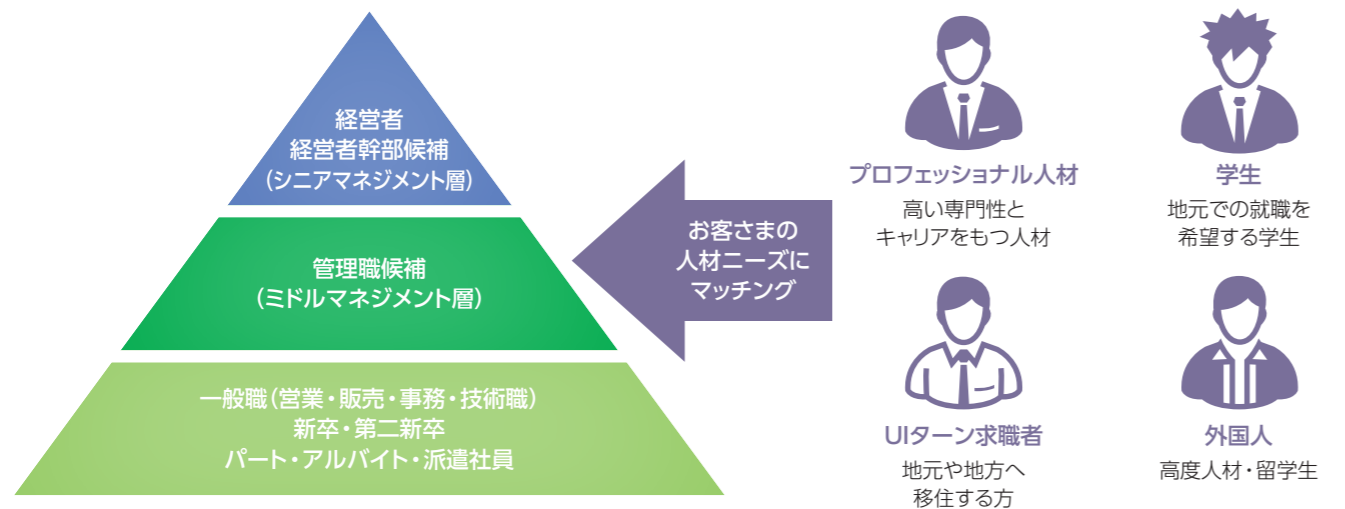


法人保険を活用することで、経営者の死亡や介護状態に対する事業保障の確保、役員退職金や設備投資への資金準備、利益の平準化による財務基盤の強化が可能となります。コンサルティングチームでは、様々なリスクからお客さまをお守りすることを使命に、お客さまの経営環境とライフステージに寄り添った法人保険のトータルプランニングを提案いたします。

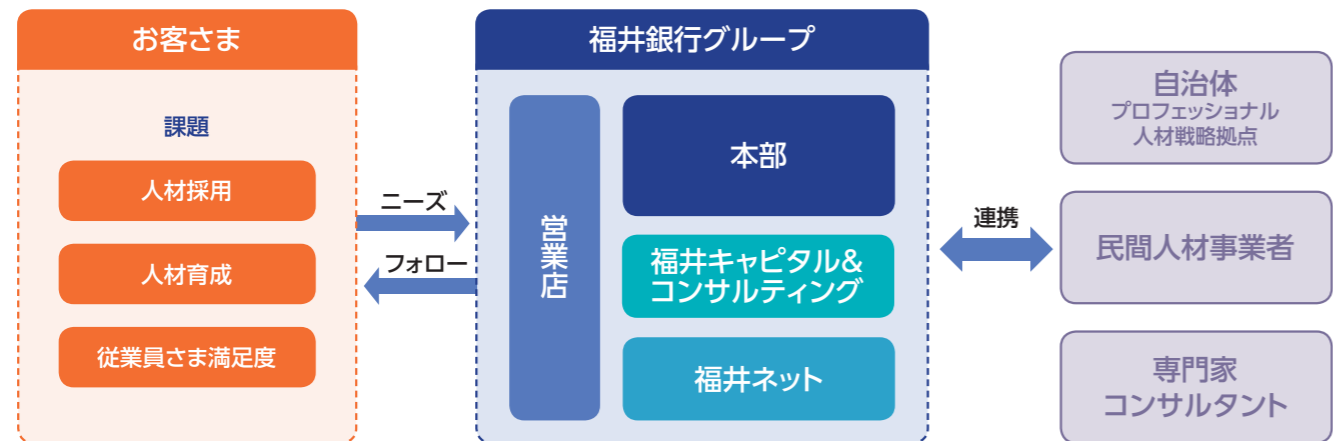
成長期・安定期・成長鈍化期 **成長支援**

9 人材発掘・人材育成支援

近年、地方にて進行する高齢化や都市部への人口流出により、人手不足が鮮明になるなか、当行では「経営幹部候補人材」や「正社員・派遣社員」「外国人労働者」など中小企業さまが抱える様々な人材ニーズに対して、自治体や民間人材事業者との連携により、的確な人材情報を提供し、企業の成長・活性化を支援しております。



(イメージ)人材支援の流れ



セミナーや研修による人材育成支援

全ての企業が直面する人材育成の課題に対し、グループ会社である福井キャピタル&コンサルティング、民間人材事業者と連携し、社員の方の立場や状況に応じた育成支援メニューを取り揃えています。



フレッシューズセミナー
毎年4月に、新入社員のみならずを対象とした「フレッシューズセミナー」を開催しています。



テーマ別研修・セミナー
経営戦略や経理・財務、接客マナーなどお客さまの課題にあわせた多彩な研修・セミナーメニューをご用意しています。



福銀 次世代経営塾
後継者の育成を目的とした「福銀 次世代経営塾」を毎年開講しており、会社を経営していく上で必要となる様々なテーマに沿った講義を行っています。

TOPICS

人事担当者向けセミナーを開催

地元企業の人事担当者のみならずを対象とした「人材確保・育成セミナー」を開催し、人材確保のための対策や他社の成功事例の紹介、人材育成の根幹である人事評価制度のポイントについて情報提供を行いました。



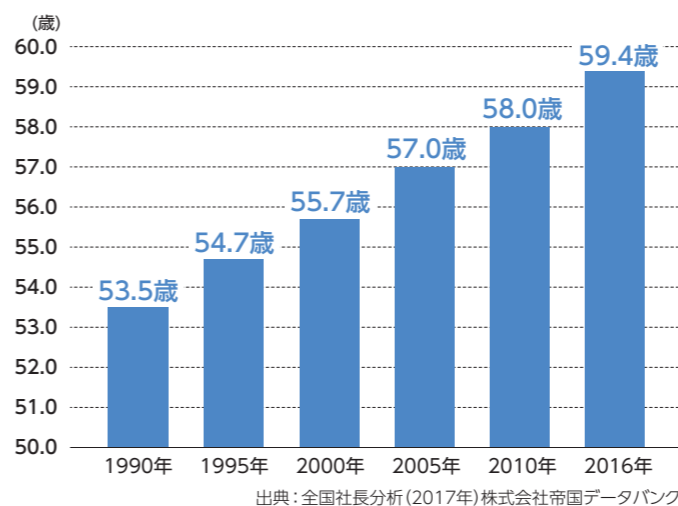
安定期・成長鈍化期・再生期

事業承継支援

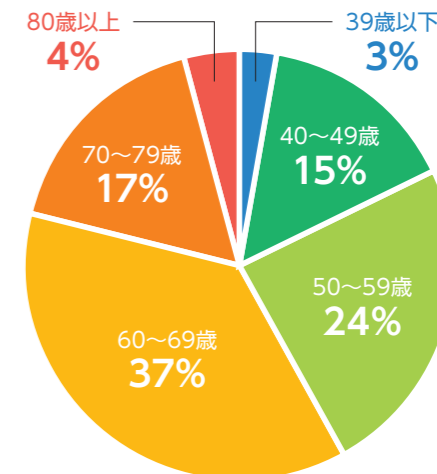
お客さまの持続的な発展・存続や円滑な事業承継を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有する取引先企業に対して、様々なノウハウを集約した本部の専任部署が中心となり、事業承継支援(自社株評価や株式承継対策を含めた実行支援)の強化を進めてまいります。

1 福井県における事業承継の現状

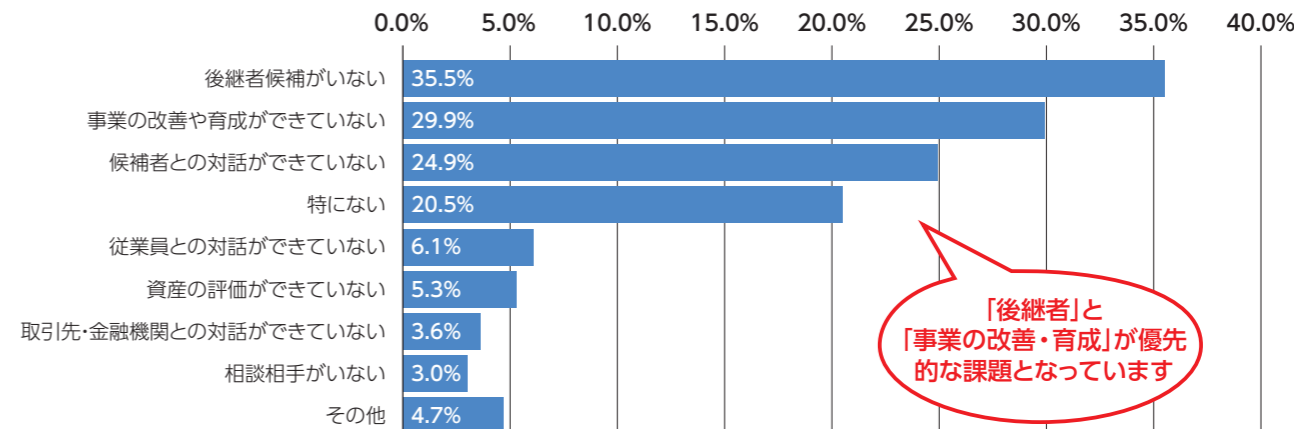
福井県内社長の平均年齢推移



福井県内中小企業の代表者の年齢



福井県内中小企業の事業承継に向けた課題



Comment

コンサルティンググループ
コンサルティングチーム
松田行員



お客さまの抱える事業承継課題は多様化しており、個々の状況によってその解決策は異なります。当行の事業承継・M&A支援メンバーは、お客さまとの対話を重ねながら「親族内承継」「従業員承継」「第三者承継(M&A)」の3つの承継方法からお客さまに最適なプランを提案いたします。

専門資格を有する経験豊富なスタッフがみなさまのご相談に対応します。

- M&Aシニアエキスパート： 7名
- 事業承継シニアエキスパート： 2名
- 事業承継・M&Aエキスパート： 294名
(2019年3月現在)

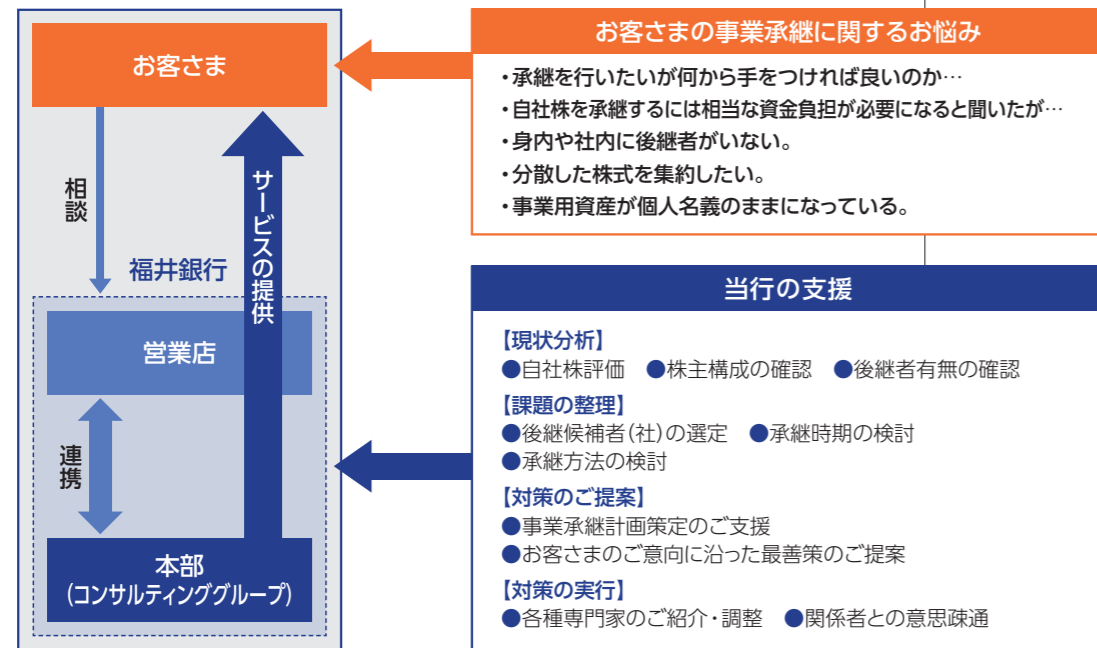
安定期・成長鈍化期・再生期

事業承継支援

2 当行の事業承継コンサルティング

会社の「事業（経営）」と「自社株式」を円滑に「後継者」へ引き継ぐ事業承継は、会社が持続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を全力でサポートします。

(イメージ)事業承継支援の流れ

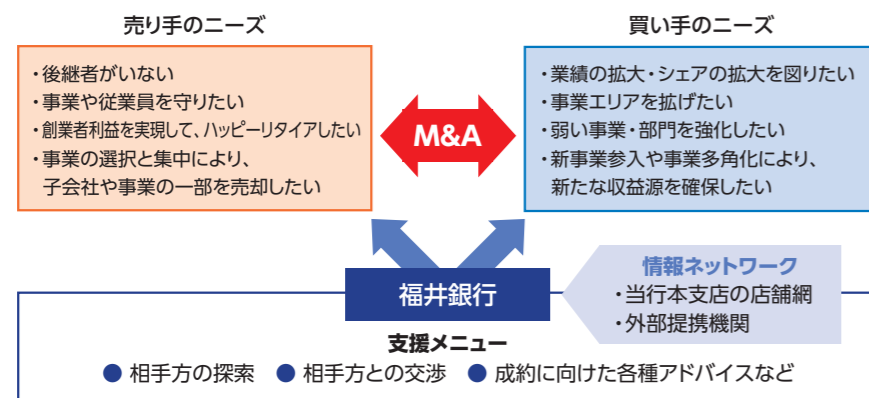


事業承継支援先数(2018年度中)

193先

3 当行のM&Aコンサルティング

M&Aで解決できる経営課題は多岐にわたります。当行がもつノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながるM&Aの活用を提案しサポートします。



M&A支援先数(2018年度中)

109先

法人のお客さまへ～改善・再生支援～

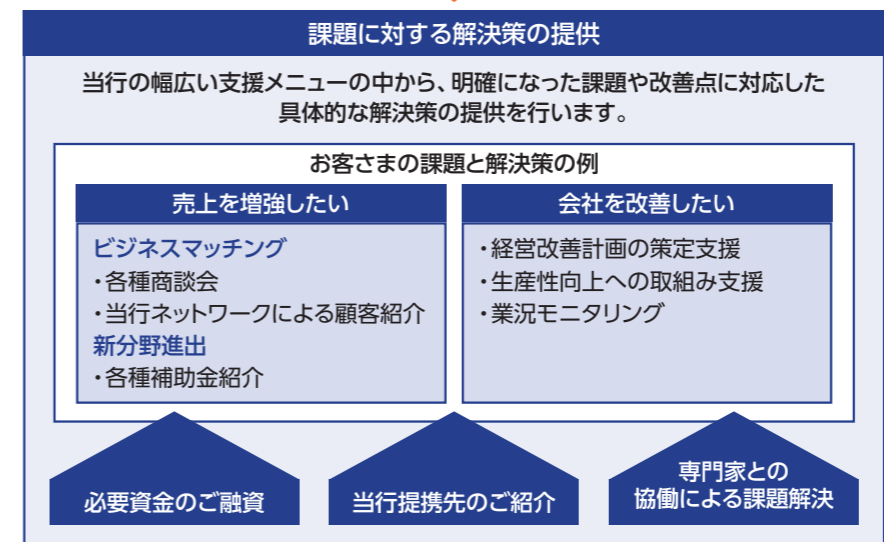
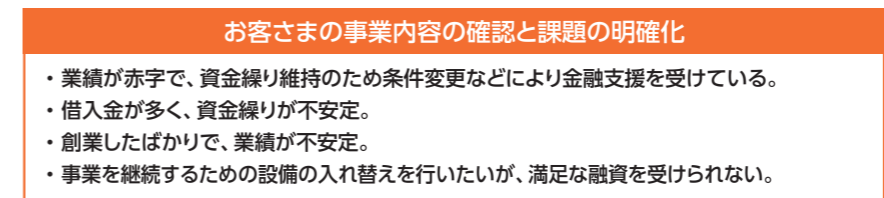
成長鈍化期・再生期

経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでまいります。

当行の経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで、当行の専門担当者がトータルサポートします。



経営改善に課題を抱えるお客さまへは、事業性理解を深め、販路拡大や生産性向上への取組み支援のほか、適切な融資形態への組換えや新たな融資による資金繰りの安定化を支援しております。

また、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構 (REVIC) などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでおります。

コンサルティングチームによる
経営改善支援先数

54先

Comment

コンサルティンググループ
コンサルティングチーム
佐藤行員

お客さまのビジネスモデルを理解し、課題を明確にした上で、業績を改善する・売上・利益を増やすためのプランを検討します。また、実効性の高い経営改善計画書の策定に携わり、より本業に注力していただけるよう、オーダーメイドの資金繰りのご支援を提案いたします。

貸付条件の変更を行っている取引先の
経営改善計画進捗状況

中小企業の貸付条件変更先数

445先

うち好調先 18先
うち順調先 130先
うち不調先 297先

※好調先…売上高が計画比120%超の先
順調先…売上高が計画比80%以上120%以下の先
不調先…売上高が計画比80%未満の先
(うち経営改善計画策定なし先213先)

REVIC・中小企業再生支援協議会の
活用先数

24先

TOPICS

事業承継セミナーを開催

2018年8月に「事業承継セミナー」を開催し、2018年度税制改正による事業承継税制実務のポイントやM&Aの活用方法について、情報提供を行いました。
当日は、事業承継に課題を抱える中小企業のお客さまを中心に、36名の方がセミナーに参加されました。



個人のお客さまへ～資産形成・資産運用支援～

個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

～お客さま理解への取組み～

企業理念「地域に暮らす人々の豊かな生活」の実現に向け、当行は「お客さま本位の基本方針」を掲げ、お客さまのライフステージをふまえたニーズ・課題を理解し、最適な商品・サービスの提供に努めてまいります。

お客さまのライフステージに応じた商品・サービスの提供



キャンペーンの実施と商品ラインアップの充実

お客さまのライフステージにおける様々なニーズに対応した、キャンペーンの実施や商品ラインアップの充実により、お客さまの課題解決支援に取り組んでおります。

2018年度中に実施したキャンペーン

2018年2月～ 5月	春の新生活応援キャンペーン
2018年2月～ 5月	ジュラチック王国支店口座開設キャンペーン
2018年6月～ 8月	夏の資産づくり応援キャンペーン
2018年8月～10月	マイカーローン「カットビくん」キャンペーン
2018年9月～ 2019年4月	教育ローンキャンペーン
2018年11月～ 2019年1月	冬の資産づくり応援キャンペーン
2019年1月～ 3月	ほけんプラザご来店・ご相談キャンペーン

相談拠点の充実

「ふくぎんプラザ」「ほけんプラザ」では、住宅資金相談、教育資金相談、保障の確認など、お客さまのライフステージに応じて生じる様々な不安や悩みを、より高度な専門知識・経験を有する行員が解決し、お客さまのさらなる成長、資産形成をお手伝いするトータルコンサルティングを行っています。

セカンドライフ層へのサポート体制の充実

お客さまに豊かなセカンドライフを過ごしていただくために、営業店・本部（コンサルティングチーム）が一体となって、お客さまの様々な悩みやニーズに最適な解決策のご提案に取り組んでおります。

● 相続ニーズへの対応

高齢化社会が進行し、相続・贈与に関するニーズが高まっております。当行は相続・贈与における様々な悩みに寄り添いお応えするため、本部コンサルティンググループに専門担当者を配置し、お客さまに最適な相続関連サービスをご提供（お取次ぎ）いたします。

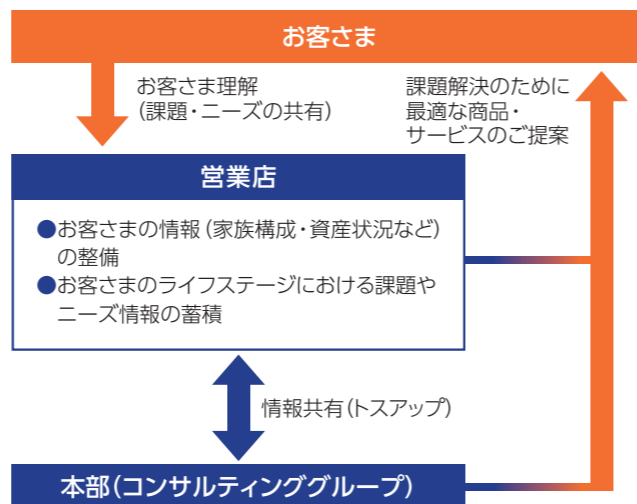
当行の相続関連サービス
 ・遺言信託 ・遺産整理業務 ・民事信託コンサルティング業務

TOPICS

住宅ローン新商品取扱開始
 2018年12月に「手数料型住宅ローン」の取扱いを開始しました。保証料は金利に含まれるため、お借入れの際の初期費用負担が軽減され、より多くのお客さまにご利用いただける商品となりました。

TOPICS

「ふくぎんプラザ鯖江」オープン
 2018年6月にローン・保険商品の専門拠点「ふくぎんプラザ鯖江」をオープンしました。丹南地区の大型商業施設「アル・プラザ鯖江」2階にあり、お買い物の際に、お気軽にお立ち寄りいただける店舗となっております。



個人のお客さまへ～生活利便性向上支援～

お客さまの利便性向上に向けた取組み

パソコンやスマートフォンを活用したサービスの拡充によるお客さまの利便性向上に取り組んでおります。

● 福井銀行アプリ

「いつでも」「どこでも」「簡単に」普通預金残高や入出金明細をご確認いただけます。また、現在行っているキャンペーンなどのオトクな情報を発信しております。



※普通預金のキャッシュカードをお持ちの方がご利用できます。



福井銀行アプリのダウンロードはこちら



● インターネットバンキング「ふくぎんネット」

口座の残高や入出金明細照会、振替・振込、投資信託や外貨預金のお取引など様々なサービスがインターネットでいつでもご利用いただけるサービスです。



インターネットバンキング

利用できる主なサービス

振込	振替
定期預金	積立定期
ローン	資産運用



ふくぎんネットのお申込みはこちら



● 口座開設アプリ

スマートフォンで、インターネット支店（ジュラチック王国支店）の口座開設のお手続きが、ご来店不要で簡単にできます。

〈ジュラチック王国支店〉

2017年3月に開設した、当行のインターネット支店です。実際の店舗を持たず、「アプリ」「インターネットバンキング」「ATM（キャッシュカード）」でお取引いただけます。また、全国のセブン銀行ATMを手数料無料でご利用いただけます。



キャッシュレス社会への対応

当行は、福井県におけるキャッシュレス社会の構築に向け、様々な取組みを進めております。

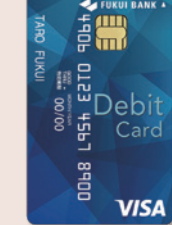
JURACA

2種類の電子マネーと、福井ならではのサービスを提供する多機能型カードです。地元企業との連携を強化し、JURACA提示により、様々な割引や優待サービスを受けられるお店が拡大しております。



ふくぎんVISAデビットカード

お買い物をしたらすぐに預金口座から引き落としされ、現金のようにご利用いただけるカードです。口座残高の範囲内でのご利用のため、使いすぎるのがなく、安心してご利用いただけます。



「ふるさと県民カード」による地域活性化

JURACAは2016年10月に福井県の「ふるさと県民カード」第1号に認定されました。地元企業の販促支援と地域内消費の活性化を実現し、地域で最も愛され、支持される「県民カード」を目指しております。



東京や大阪にある福井のお店で割引・優待！
 対象となる首都圏、関西圏の福井ゆかりの店舗で、割引・優待が受けられます。



使うほどに福井を元気にできる！
 QUICKPAY決済額の0.05%が福井県の地方創生事業に寄付されます。



恐竜博物館などで割引・優待！
 恐竜博物館をはじめ、対象となる県の公共施設で割引・優待が受けられます。

地域のみなさまへ～まちづくりへの参画～

地域の面的再生への積極的な参画

～まち・ひと・しごと創生に向けた取組み～

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでおります。

地方公共団体との協定締結

当行と各地方公共団体が相互に連携し、相互の人的・知的資源の活用を図り、協働による事業活動を展開することで、「まち・ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立を目指すことを目的に、地方公共団体と連携協定を締結しています。今後も地方公共団体との連携を強化し、積極的な関与・協力を通じて地域経済の活性化に貢献してまいります。

協定締結先一覧

時期	地方公共団体
2015年度	越前市、福井市、勝山市、大野市、小浜市、敦賀市、美浜町
2016年度	永平寺町、坂井市、福井県、高浜町
2017年度	鯖江市、あわら市、越前町、南越前町

ふくい地域プラットフォーム

財務省北陸財務局、日本政策投資銀行とともに、官民連携による地域活性化について考えるふくい地域プラットフォームを開催いたしました。地域において「効率的かつ効果的な公的施設等の整備や、高速交通開通に伴う各事業のより円滑な実施などに向け戦略的にPPP/PFIの活用推進を通じた民間における新たな事業機会創出や民間投資喚起等による地域活性化実現」などを目指しています。2019年5月には、国が支援する事業（協定プラットフォーム）に選定されました。

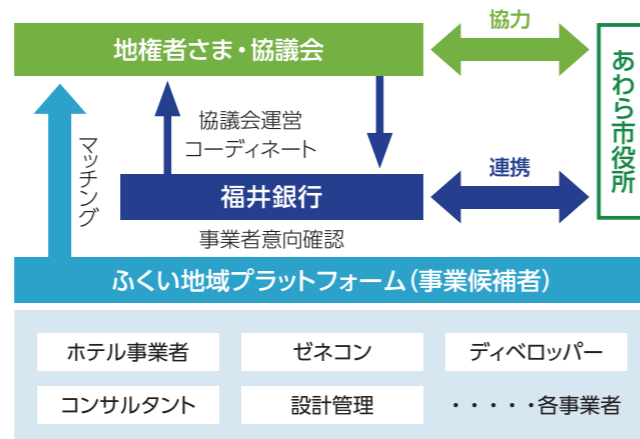


あわら坂井ふるさと創造推進協議会の設立

2018年5月、坂井市、あわら市と福井銀行が中心となり、両市に所在する高等学校及びPTA、三国公共職業安定所等が連携し、将来地域を担っていく高校生等にシビックプライド（ふるさとへの愛着）を醸成するなど定住人口の増加に繋がる取組みを推進していくことを目的に協議会を設立いたしました。

あわら市との連携事業「駅西口エリア活用促進協議会」

2018年9月、2023年の北陸新幹線原温泉駅開業に向けた駅周辺整備事業で、当行があわら市より運営事務局を受託し、地権者の意向調査、地権者の合意形成、事業候補者の選定などに当たります。福井県の「北の玄関口」にふさわしい交通結節点と魅力発信拠点として、駅利用者の利便性の向上を図るとともに、市民と来訪者が集い、ともに憩えるエリアとして整備することで、駅周辺のさらなる賑わい創出を目指していくものです。



伝統産業の成長発展支援

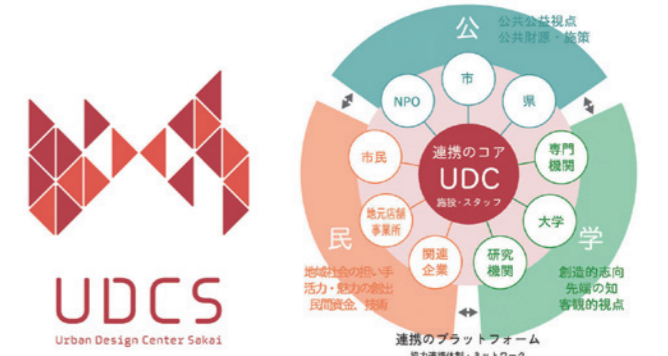
和紙産地振興支援として2017年4月より福井県和紙工業協同組合との産地振興ミーティングを開催、大手コンサルタントの三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる公開セミナーの開催や組合員によるワークショップを実施しました。

2018年度に入り、越前和紙のブランド力向上を目指し、福井県中小企業団体中央会との連携による中小企業販路開拓調査・実現化事業（中小企業組合等活路開拓事業）補助金申請を通じて、越前和紙産地振興プロジェクト構築事業委員会に参画し、2019年2月に5年間の越前和紙産地振興計画の策定に至っています。



新たなまちづくり「UDCS」に参画

2018年5月、坂井市三国町地域を中心に人口減による地域の課題解決を行政、民間（企業や住民）、大学が連携して進める組織「アーバンデザインセンター坂井（UDCS）」が発足しました（2018年9月一般社団法人化）。坂井市と包括連携協定を締結している当行も参画し、当行行員が役員（副理事長）として就任し、地域のシンクタンクとして組織運営への協力や事業コーディネートに対し積極的な関与を行います。



永平寺町観光案内所内への海外発行カード対応ATM設置

2018年8月、外国人旅行者の利便性の向上のため、永平寺門前に新設された観光案内所内に、海外で発行されたカードにより日本円の引出し・キャッシングができるATMを設置いたしました。当行において、海外で発行されたカードを利用できるATMの設置は初となります。



勝山市ジオターミナル内への海外発行カード対応ATM設置

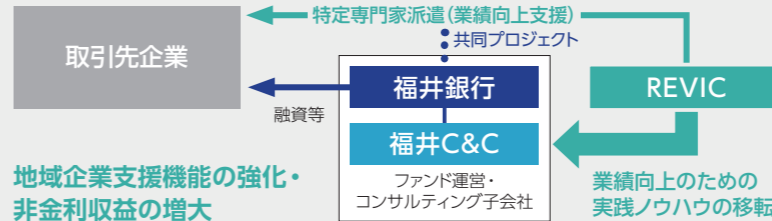
2019年3月、株式会社ローソン銀行と、福井県恐竜博物館に隣接する勝山市ジオターミナル内にATM1台を共同設置いたしました。海外発行カードにも対応しています。

TOPICS

福井キャピタル&コンサルティングとREVICとの連携による取引先企業の業績向上支援を通じた観光活性化の取組み

2018年9月に、当行、福井キャピタル&コンサルティング（福井C&C）、株式会社地域経済活性化支援機構（略称：REVIC）と当行取引先企業の4者で、特定専門家派遣契約を締結しました。当行の要請に基づき、REVICが取引先企業へ企業経営に精通した専門家を派遣し、当行・福井C&C・REVICが連携して、取引先企業が抱える経営課題の解決並びに業績向上のためのコンサルティングを実施しております。

特定専門家派遣契約



Comment

福井キャピタル&コンサルティング
高原コンサルタント



対象となるお取引先企業は福井県内に本社・営業拠点を有し、地域の重要な観光集客施設を運営しております。今回の専門家の派遣は、観光を軸とした面的活性化にも貢献するものと考えております。また、福井銀行グループとREVICが共同で企業支援に入ること、その過程でREVICの持つノウハウを習得・蓄積し、コンサル機能をより一層強化し、企業・地域の持続的な活性化につなげてまいります。

観光活性化への取り組み～「ふくジェンヌ」～



福井県の観光活性化を目的に、2015年3月に福井県観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」を結成しました。年齢や居住地域、所属部署が異なる女性職員で構成された組織を横断したプロジェクトチームで、1年ごとにメンバーの交代を行い、2019年5月からは5期メンバーが活動を行っています。主にオリジナルガイドブックの発刊やインスタグラムなどで福井の魅力を発信しています。

オリジナルガイドブック「いこっさ!福井」の発刊

2016年より1年ごとにオリジナルガイドブックを作成し、2019年3月までにvol.1～4を発刊しています。福井銀行窓口や当行イベント、観光案内所等に設置・配布しております。



Instagram等での情報発信

Instagramでの情報発信のほか、中国での動画コミュニティサービス「第j站(jStation)」の運営を開始したJapan Digital Design株式会社と協力し中国向けにも福井の観光情報発信を行っています。2018年度はInstagramへの投稿を142件行いました。



フォローはこちら



地域のシンクタンクとしての取り組み

地域のシンクタンクとしての役割を果たすべく、福井キャピタル&コンサルティングと連携し、地域の経済情報やトピックス・統計資料等の情報収集および発信に努めております。

「福井県内企業動向調査」の実施

四半期ごとに「福井県内企業動向調査」を実施し公表しております。福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向(県内企業の現在の経営環境や今後の見通し)について情報提供いただき、共有することで、福井県内企業のみなさまの経営に役立てていただくことを目的としております。調査結果につきましては、当行のホームページよりご確認ください。

情報誌「福銀ジャーナル」の発刊

地域の経済情報やトピックス・統計資料、「福井県内企業動向調査」の結果などを盛り込んだ「福銀ジャーナル」を四半期毎に発刊し、情報発信に努めております。



地域やお客さまに対する積極的な情報発信

地域やお客さまのお役に立つ情報やノウハウを、各種セミナーやホームページ・SNSを通じて発信してまいります。

セミナー開催による情報提供

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、当行のノウハウを活かした各種情報の提供に取り組んでおります。

● ふくぎんフレッシューズセミナー2018

2018年4月に新社会人となられた方を対象として、「ふくぎんフレッシューズセミナー」を開催しました。2018年度は133社、計586名の新社会人のみなさまに参加いただきました。

● 家族信託セミナー

認知症や高度障害で意思判断能力が低下すると、「自分の財産が自分のために活用できなくなる」という大きなリスクが生じます。このリスクへの対策として「信託」が注目を集め始めています。新時代の財産管理・承継の仕組みである「信託」をお客さまにわかりやすく解説するセミナーを開催しました。

● 資産運用セミナー

お客さまの資産運用ニーズにお応えし、資産形成のお手伝いをさせていただくための情報提供の場として「資産運用セミナー」を開催しております。WEB会議システムを通して全店的に行うものや、「マネーカフェセミナー」と題して少人数でリラックスしてご参加いただけるものまで、お客さまのニーズに応じたテーマ・内容で開催しております。

WiL (Woman's inspiration Library)

福井駅西口再開発ビル「ハピリン」2階に開設しました「WiL」が2019年4月に3周年を迎えました。年間100回を超えるセミナーやワークショップを開催し、毎回多くの方々にご参加いただいております。今後も福井駅前の活性化、地域のお客さまの豊かな生活を実現するお手伝いをさせていただくため、たくさんの本に囲まれたリラックス空間を提供してまいります。

SNSを活用した情報発信

- 福井銀行**
キャンペーンやセミナー、イベントなどの情報や福井銀行をもっと便利なおトクにつかっていたりする方法などお客さまに役立つ情報をお届けします。
- ヒロちゃんが行く! ふくい食巡り**
福井県の代表的な食材、福井県外に認知度の低い食材、福井県民も知らない隠れた逸品、福井の匠の技が生み出す食器、食に関連する文化、観光に関する情報を継続して発信しています。
- WiL**
働く女性に居心地の良い空間を目指した福井銀行の新しい拠点「WiL(ウィル)」。イベント・セミナー情報などを発信し、ワクワク感を伝えていきます。

TOPICS

お取引先企業の従業員さま向け「ライフプランニングセミナー」を開催

当行の営業担当者が講師となり、お取引先企業に出向いて、従業員さま向けのライフプランニングセミナーを実施しております。2018年度は114回のセミナーを実施し、将来に向けた資産形成の必要性等について講義を行いました。



- 福井銀行**
ふくちゃんがオトクな情報や便利なサービスのご案内など、うれしい情報をお届けします。
- ふくジェンヌのいこっさ! 福井**
福井県観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が、福井県のグルメ、絶景、季節の見どころなどをお届けします。ガイドブックには載っていない旬な情報も!
- WiL**
空間や様々なジャンルの本の紹介をメインに、Facebookとはまた違った内容をお届けします。
- 福井銀行**
福井銀行のテレビCMなどの動画をご覧ください。

地域のみなさまへ ～地域への貢献活動～

CSRへの取組み

創業以来、福井銀行がこれまで発展してこれてきたのは、地域社会や地域のお客さまの長年にわたる多大なご支援のおかげであり、その感謝の精神は創業者精神である「四恩感謝」に集約されています。この「四恩感謝」の精神に則り、これまで当行を支えていただいた地域社会に深く感謝するとともに、地域社会の持続的な発展に向けて恩返しをさせていただくことが福井銀行のCSRであると考えております。

教育への取組み

教育機関への講師派遣や職場体験の受入れ等を通して、地域の明日を担う人材の育成支援に努めております。

金融教育の支援

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・当行職員との座談会等による金融知識の普及、啓蒙活動を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでおります。



公益財団法人福井銀行教育福祉財団による寄付事業

公益財団法人福井銀行教育福祉財団は、当行の役職員で構成していた「保堂会」という任意団体が設立母体となって設立した法人が、2013年10月に名称変更した公益財団法人です。

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄付事業を実施しています。

金融経済教育開催実績
受講者数

1,240名

2018年度寄付実績

36団体へ

総額 575万円寄付

2000年からの寄付金累計額

1億5,800万円

環境への取組み

環境に配慮した事業展開や環境・景観形成活動を通して、豊かな自然環境の保全に努めております。

「ふくぎんの森」づくり活動の実施

豊かな自然環境を次世代に残すため、2013年より敦賀市野坂山にて、「ふくぎんの森」づくり活動と称して役職員による森林整備活動を実施しております。

これまでに「もみじ(イロハモミジ)」を計310本植樹いたしました。2018年度は下草刈りを実施し、役職員計44名が参加いたしました。今後も継続して下草刈り等を行ってまいります。



歴史・文化振興への取組み

地域社会の一員として、地域行事やボランティア活動への積極的な参加を通して、地域の歴史や文化の振興を図り、地域社会の活性化に努めております。

地域行事・ボランティアへの積極的な参加



福井フェニックスまつり民踊大会



福井駅前ガムとり大作戦



松本商店街夏祭り

2018年度
地域活動参加者

のべ 946名

ロビー展の開催

各営業店では、地元の産業や文化・歴史の紹介や地域のお客さまの趣味を生かした作品展など様々なロビー展を開催しております。



「三国祭山車」懐かしの写真展



かつての河和田風景写真展



若狭観光・物産品紹介展

TOPICS

「福井しあわせ元気」国体・障スポへの支援活動

2018年9月～10月に「福井しあわせ元気」国体・障スポが行われました。

福井銀行は、選手のみなさんが練習の成果を存分に発揮されるとともに、スポーツの力で福井全体が盛り上がることを願い、オフィシャルサポーターとして、大会を成功に導くための様々な支援を行いました。

「福井しあわせ元気」国体では福井県が大健闘し、50年ぶり2度目の男女総合優勝に輝き「天皇杯」を獲得。また「皇后杯(女子総合優勝)」も初めて手にしました。



大会運営のボランティア等の参加

国体・障スポのボランティアに参加し、来場者や選手たちを温かくお迎えしました。また、選手へのメッセージカード作成や競技審判などでも協力し、約700名の職員が大会運営等に関わりました。



高等学校野球(硬式)の入場券販売業務への協力

国体開催競技のうち、唯一入場料が必要な高校野球(硬式)の入場券販売業務を、当行が担当しました。当日券のみの販売のため、連日、早朝から千人以上の高校野球ファンが長い行列を作りました。



「はぴりゅう広場」への出店

国体・障スポ期間中、開・閉会式会場近くの「はぴりゅう広場」にて地元企業が福井県の魅力を発信するブースを展開。当行も出店し、1億円の重さ体験や金融クイズ、観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が作ったオリジナルガイドブックの配布などを行いました。